

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
1	地域活動における男女共同参画の促進のための情報提供や学習機会の提供	地域で活動を行う団体に対して、本プランの趣旨や男女共同参画の具体的な取組例、そのメリットについての情報提供や研修会等を実施する。	自治振興課	関係課と協力し、会議等の場で地域活動の役員に男女がバランスよく選出されるよう働きかける。	地区市民協議会交流研修会で、男女共同参画の視点や、マイノリティへの配慮の大切さも含めた、地域防災の講演会「市民防災力を高めるために」を開催した。(11/8開催参加者125人)	-	継続	活動指標	働きかけを行った回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	-	1	1	1	1		
								評価	-	B	B	B	B		
1	地域活動における男女共同参画の促進のための情報提供や学習機会の提供	地域で活動を行う団体に対して、本プランの趣旨や男女共同参画の具体的な取組例、そのメリットについての情報提供や研修会等を実施する。	人権・男女共同参画課	各種団体所管課の協力のもと、団体の会議等の場で、男女共同参画に関するトピックについて伝えるなど、情報提供に努める。	岸和田市青少年指導員協議会、家庭教育学級、民生委員・児童委員協議会の場において男女共同参画センターの紹介や主催講座の情報提供を行った。	-	継続	活動指標	働きかけを行った回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	-	2	2	3	3		
								評価	-	B	B	A	A		
2	男女がともに担う地域活動の推進	性別によって役割を分けることなく、男性と女性がともに地域活動に参画することの必要性について、所管する地域活動団体等に対して啓発を行う。	自治振興課	関係課と協力し、会議等の場で地域活動の役員に男女がバランスよく選出されるよう働きかけ、そのメリット等についても説明を行う。	性別や仕事の有無に関わらず、参加しやすい地域活動になるように、行事や会議の見直しを行った地区市民協議会の取組を地区市民協議会交流研修会(11/8開催参加者125人)で紹介し、他の団体の参考にしていただいた。	-	継続	活動指標	働きかけを行った回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	-	1	1	1	1		
								評価	-	B	B	B	B		
2	男女がともに担う地域活動の推進	性別によって役割を分けることなく、男性と女性がともに地域活動に参画することの必要性について、所管する地域活動団体等に対して啓発を行う。	人権・男女共同参画課	【施策番号1と同じ】	【施策番号1と同じ】	-	継続	活動指標	働きかけを行った回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	-	2	2	3	3		
								評価	-	B	B	A	A		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
3	市民団体における男女共同参画の促進のための情報提供や学習機会の提供	市民団体に対して、本プランの趣旨や男女共同参画の具体的な取組例、そのメリットについての情報提供や研修会等を実施する。	人権・男女共同参画課	【施策番号1と同じ】	【施策番号1と同じ】	-	継続	活動指標	働きかけを行った回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	2	2	2	
								実績		1	1	3	3		
								評価	-	B	B	A	A		
4	家事・育児・介護に取り組む男性グループへの活動支援	家事や育児、介護に取り組む男性グループに対して各施設の登録グループ・団体、クラブへの登録の勧めと活動支援を行う。	人権・男女共同参画課	男性対象の育児に関する講座を開催し、登録の勧めや活動支援を行っていく。	きしわだ男女共同参画フォーラム「男性育休」を有効活用～本人・周りの育児参画のコツを考える～(44人参加)を開催した。また、登録グループである「おじさんきっちんきしわだ」が新条地区公民館で出前講座を開催するため、調整等の支援を行った。	今年度の男性グループの新規登録団体がなかったため。	継続	活動指標	男性グループの新規登録団体数(団体)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	1	-	1	-	
								実績		-	1	-	0		
								評価	-	D	B	-	C		
4	家事・育児・介護に取り組む男性グループへの活動支援	家事や育児、介護に取り組む男性グループに対して各施設の登録グループ・団体、クラブへの登録の勧めと活動支援を行う。	生涯学習課	男性対象の定期講座をクラブや自主的な活動へ移行できるよう、積極的に支援を行う。クラブ登録説明会等を行い、新規団体の設立を支援する。	定期講座「足から鍛える男のストレッチ(全8回)」「パパと子どものランチ道場(全4回)」を実施。	クラブ登録には至っていない。	継続	活動指標	男性グループの新規登録団体数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	0	0	1	0		
								評価	-	C	C	B	C		
5	男性への家事・育児・介護のための学習機会の提供	男性の家事・育児・介護への参画意識の浸透を目的に、講座や様々な手段を用いて学習機会を提供する。	人権・男女共同参画課	男性対象の家事・育児・介護に関する講座を開催する。	①「きしわだ男女共同参画フォーラム」(44人参加) ②「ゆめパのじかん上映会&屋内型プレーパーク」(70人参加) ③「親子でサイエンス・クッキング」(37人参加・16組中2組が父親と子の参加) ④「親子で日曜大工」(18人参加)	-	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	3	3	3	3	3	
								実績		3	6	6	4		
								評価	-	B	A	A	A		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
5	男性への家事・ 育児・介護のた めの学習機会の 提供	男性の家事・育児・介護 への参画意識の浸透を 目的に、講座や様々な手 段を用いて学習機会を 提供する。	子 ど も 家 庭 課	【R6より健康推進課から子ども家 庭課へ移管】 パパの妊婦体験や沐浴実習、妊娠 の成り立ちや産後の育児、赤ちゃん の泣き等について学び、妊娠出産に 伴う女性の身体的・精神的変化を 知り、夫婦が互いをいたわり、協力し て家事・育児に取り組めるよう男性 に家庭での役割意識をもってもらえ るように働きかけた。 パパママ教室：全6クール終了(うち 日曜日開催3回) 参加人数(延)：妊婦172人、パート ナー102人	-	-	継続	活動 指標	開催回数(クール)※1クール=3回						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	6	6	6	6	6	
								実績	6	6	6	6	6		
								評価	-	B	B	B	B		
5	男性への家事・ 育児・介護のた めの学習機会の 提供	男性の家事・育児・介護 への参画意識の浸透を 目的に、講座や様々な手 段を用いて学習機会を 提供する。	介 護 保 険 課	家族の介護負担を減らすには、介 護しやすい環境を整え適切な介護 技術を身につけることが必要不可 欠である。介護を担う人が正しい 知識を身につけて介護と向き合う ことで、身体的かつ精神的な負担 を軽減すること、介護が必要になっ た時の手続きの方法や相談窓口 の場所等を知ってもらうことを目的 に「らくらく介護教室」(1クール5 回)を開催する。	-	-	継続	活動 指標	実施場所(カ所)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	2	1	2	2	1		
								評価	-	C	B	B	C		
5	男性への家事・ 育児・介護のた めの学習機会の 提供	男性の家事・育児・介護 への参画意識の浸透を 目的に、講座や様々な手 段を用いて学習機会を 提供する。	生 涯 学 習 課	男性の家事・育児・介護への参 画意識の向上を目的とした講 座を開催する。	-	-	継続	活動 指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	2	1	4	3		
								評価	-	A	B	A	A		
5	男性への家事・ 育児・介護のた めの学習機会の 提供	男性の家事・育児・介護 への参画意識の浸透を 目的に、講座や様々な手 段を用いて学習機会を 提供する。	図 書 館	男女の区別なく利用してもらえ る資料の収集に努める。	-	-	継続	活動 指標	関連図書の展示						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
6	市職員の男性の育児休業の取得促進	育児休業制度について職員に周知するなど、男性の育児休業の取得を促進する。また、制度を利用しやすい職場環境の整備に努める。	人事課	「服務・勤怠関係資料」と「妊娠・出産・育児にかかる休暇・休業の一覧表」を活用し、本人または配偶者が出産を控えている職員に対し、積極的に説明を行っている。	全職員が確認できるよう、パンフレットではなく、庶務研修資料としてデータで共有した。	-	継続	活動指標	説明資料の作成と更新						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	D	B	B	B		
6	市職員の男性の育児休業の取得促進	育児休業制度について職員に周知するなど、男性の育児休業の取得を促進する。また、制度を利用しやすい職場環境の整備に努める。	人権・男女共同参画課	制度を利用しやすい職場環境の整備について、広報物等で周知に努める。	きしわだ男女共同参画フォーラム「男性育休」を有効活用～本人・周りの育児参画のコツを考える～(44人参加)について、人事課の協力のもと、研修ポイント(カフェポイント)対象講座とし、庁内に周知した。複数の若手職員のフォーラム参加につながった。	-	継続	活動指標	取得促進に関する働きかけ						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	D	A	B	B		
7	市職員の出産補助休暇の取得促進	「岸和田市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に定められている出産補助休暇の取得率90%の目標値達成に向けて、制度を周知する。	人事課	積極的に制度の周知を行い、男性の出産補助休暇の取得率の向上を目指す。	庶務研修資料に休暇情報について掲載済み。また、配偶者の妊娠・出産の報告があった際には、出産補助休暇の取得が可能であることを説明している。	-	継続	活動指標	出産補助休暇取得率(%)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	60	65	70	80	90	
								実績	58	66	63	66	95		
								評価	-	A	C	C	A		
7	市職員の出産補助休暇の取得促進	「岸和田市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に定められている出産補助休暇の取得率90%の目標値達成に向けて、制度を周知する。	人権・男女共同参画課	庁内情報紙「パートナー」等で制度の周知を行う。	「パートナー」は発行できなかったが、きしわだ男女共同参画フォーラム「男性育休」を有効活用～本人・周りの育児参画のコツを考える～について、人事課の協力のもと、研修ポイント(カフェポイント)対象講座とし、庁内に周知した。	「パートナー」で育児休業制度などを紹介できなかったため。	継続	活動指標	取得促進に関する働きかけ						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	D	B	B	C		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	情報発信回数(回)	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
8	事業所に対する男性の家事・育児・介護への参画に関する啓発	様々な手段を活用して事業所に情報発信を行うとともに、関係団体と協力して、男性の家事・育児・介護への参画に関する研修会を実施する。	人権・男女共同参画課	【施策番号5参照】 男性対象の家事・育児・介護に関する講座を開催の際、事業所メールマガジン等により、事業所に対して周知する。	男性の家事・育児に関するセミナーなどを開催する大阪府主催のドーンdeキラリフェスティバルや、男性の育児参加支援・女性活躍推進などを積極的に行う大阪府「男女いきいき事業者表彰」募集案内、きしわだ男女共同参画フォーラムなどについて、事業所メールマガジンで周知を行った。	-	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績		3	4	5	3		
								評価	-	A	A	A	A		
8	事業所に対する男性の家事・育児・介護への参画に関する啓発	様々な手段を活用して事業所に情報発信を行うとともに、関係団体と協力して、男性の家事・育児・介護への参画に関する研修会を実施する。	産業政策課	●「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内容案の候補として検討する。 ●人権・男女共同参画課等からの依頼により、講座参加事業所に対して男性の家事・育児・介護への参画に関する情報発信を行う。	他の講座内容が優先されたため、実施できなかった。	実施できなかったため。	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	0	1	1	0	0		
								評価	-	C	C	D	D		
9	図書・DVDの充実と有効活用	時代の動きや社会ニーズに沿った図書・DVDを購入するとともに、図書・DVDの概要を広く周知し貸し出すことで、男女共同参画の意識の浸透を図る。	人権・男女共同参画課	●男女共同参画週間(6/23-6/29)に合わせ、関連する図書を展示する。 ●新刊図書・DVDの概要をまとめた案内パンフレットを作成し各施設に配架する。 ●男女共同参画意識の浸透のため、DVDの上映会を開催し、男女共同参画に関するデータなどの提供を行う。	●男女共同参画週間に合わせ、関連する図書を展示した。 ●図書の貸出について、クレアシオンに掲載・紹介した。 ●映画上映会の開催時に、男女共同参画に関する情報提供を行った(年4回)。	-	継続	活動指標	図書・DVDの購入数(冊)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	55	55	55	55	55	
								実績		52	35	35	33		
								評価	-	C	C	C	C		
9	図書・DVDの充実と有効活用	時代の動きや社会ニーズに沿った図書・DVDを購入するとともに、図書・DVDの概要を広く周知し貸し出すことで、男女共同参画の意識の浸透を図る。	図書館	時代の動きや社会ニーズに沿った図書・DVDを購入するとともに、図書・DVDの概要を広く周知し貸し出すことで、男女共同参画の意識の浸透を図る。	時代の動きや社会ニーズに沿った図書・DVDを購入し、概要を周知し貸出を行っている。	-	継続	活動指標	関連テーマ展示の開催						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	1	1	1	1	1		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの						
								活動指標						
10	国の動向・新たな制度等についての情報発信	国の動向・新たな制度の創設や改正等について、絶えずアンテナを張り、必要な情報をわかりやすく市民に伝える。 【市民に限定せず】	人権・男女共同参画課	国の動向や新しい情報について、ホームページ等で随時情報発信に努める。	男女共同参画週間や男女共同参画白書などの情報についてホームページなどで情報発信した。また、今年度から施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」について、庁内の相談窓口担当者会議において周知した。	-	継続	活動指標	情報発信数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	2	2	2	2	2
								実績		3	5	5	3	
								評価	-	A	A	A	A	
11	男女共同参画の視点からの市の広報物に関するガイドラインの作成	性別による役割分担意識を助長することのない、人権に配慮した広報物を作成するため、全庁で使用できるガイドラインを作成する。	広報広聴課	広報紙やチラシ、ポスター作成時の表現や写真・イラストに関する注意点をまとめ、必要に応じて人権・男女共同参画課と適宜、意見交換する。	広報紙の記事掲載依頼を受けた際、表現などが人権に配慮されているか確認し、必要に応じて人権・男女共同参画課と協議した。	-	継続	活動指標	意見交換の実施回数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	1	1	1	1
								実績	1	2	2	2	2	
								評価	-	A	A	A	A	
11	男女共同参画の視点からの市の広報物に関するガイドラインの作成	性別による役割分担意識を助長することのない、人権に配慮した広報物を作成するため、全庁で使用できるガイドラインを作成する。	人権・男女共同参画課	【終了】 今後、大阪府のガイドラインを活用していくため、この施策の取組は終了。(令和4年度に決定)	-	-	継続	活動指標	意見交換の実施					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	-	-	-	-	-
								実績	-	-	-	-	-	
								評価	-	D	B	-	-	
12	市民意識調査の実施	市民の男女共同参画に関する意識を把握するため、市民意識調査を実施するとともに、本プランの見直しの基礎資料とする。	人権・男女共同参画課	18歳以上の市民を対象に男女共同参画に関する市民意識調査を実施する。	18歳以上の市民2,400人を対象に男女共同参画に関する市民意識調査を実施した(11月)。 有効回答数:531 有効回答率:22.1%	-	継続	活動指標	市民意識調査の実施(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	-	-	-	1	-
								実績		-	-	-	1	
								評価	-	-	-	-	B	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
13	小・中・高校生への意識調査の実施	若年層の男女共同参画に関する意識を把握するため、小・中学生、高校生への意識調査を実施する。	人権・男女共同参画課	小・中・高校生を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施する。	岸和田市立小・中・高校において、小学5年生・中学2年生・高校2年生を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施した(11月)。 有効回答数: 小学生1,130 中学生1,146 高校生 251 有効回答率: 小学生70.8% 中学生74.6% 高校生95.1%	-	継続	活動指標	調査の実施(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	I	-	
								実績	-	-	-	-	I	-	
								評価	-	-	-	-	B	-	
13	小・中・高校生への意識調査の実施	若年層の男女共同参画に関する意識を把握するため、小・中学生、高校生への意識調査を実施する。	産業 高校 学務課	人権・男女共同参画課からの依頼に基づき、意識調査を実施する。	人権・男女共同参画課からの依頼に基づき、高校2年生全員を対象に意識調査を実施した。	-	継続	活動指標	人権・男女共同参画課が実施する調査への協力						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	-	-	-	B	-	
13	小・中・高校生への意識調査の実施	若年層の男女共同参画に関する意識を把握するため、小・中学生、高校生への意識調査を実施する。	人権 教育課	学校生活アンケートなどで、小中高生の意識の実態を把握する。	学校生活アンケートなどで、小中高生の意識の実態を把握できた。	-	継続	活動指標	生活アンケート実施校の割合(%)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	100	100	100	100	100	
								実績	100	100	100	100	100	-	
								評価	-	B	B	B	B	-	
14	性別による固定的な役割分担意識の払拭のための学習機会の提供と充実	性別による固定的な役割分担意識の歴史的背景やその後の経緯、今なお根強く残る実態を知り、それらの解消に向けた講座を開催する。	人権・男女共同参画課	性別による固定的な役割分担意識の払拭のための講座を開催する。	8講座開催。 きしわだ男女共同参画フォーラム「男性育休」を有効活用～本人・周りの育児参画のコツを考える～(44人参加)、NPO法人ここからKitと共催「ゆめバのじかん上映会&屋内型プレーパーク」(70人参加)、「親子でサイエンス・クッキング」(37人参加)など。	-	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	10	8	8	8	8	
								実績	-	6	9	12	8	-	
								評価	-	C	A	A	B	-	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
14	性別による固定的な役割分担意識の払拭のための学習機会の提供と充実	性別による固定的な役割分担意識の歴史的背景やその後の経緯、今なお根強く残る実態を知り、それらの解消に向けた講座を開催する。	生涯学習課	共働き世帯、子育て世代対象の講座を開催する。	定期講座「パパと子どものランチ道場(全4回)」、短期講座「パパ・ママがもうダメとなる前に～東洋医学編～」(大人8名 子ども5名参加)・短期講座「発達障害・グレーゾーンの気になる子の中高校生時代にコレはしとこうやめとこう」(40名参加)を実施。子育てにおける悩みや気がかりに感じていることについて、性別を問わず考える機会となった。	-	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	1	0	2	3		
								評価	-	B	D	A	A		
15	ライフステージに応じた啓発	思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフステージに応じた講座等を開催し、性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行う。	人権・男女共同参画課	ライフステージに応じた講座を開催する。	①「フェムテックってなあに?」(8人参加) ②「乳がん予防セミナー&リラックス椅子ヨガ」(24人参加)	-	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	3	3	3	3	3	
								実績		3	1	5	2		
								評価	-	B	C	A	C		
15	ライフステージに応じた啓発	思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフステージに応じた講座等を開催し、性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行う。	福祉政策課	老人クラブの会議等において、性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行う。	「認知症の人を支える家族のつどい」において、直接的ではないがテーマとして、介助は女性だけがするものではなく、男女ともに行うものとして啓発を行った。	-	継続	活動指標	啓発の実施						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	D	B	B	B		
15	ライフステージに応じた啓発	思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフステージに応じた講座等を開催し、性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行う。	子ども家庭課	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ移管】(施策番号5) パパママ教室等の参加を通じて男性に家事・育児など家庭での役割意識を持ってもらうようにする。 パパママ教室:3回1クール 年間6クール開催予定。	パパママ教室の参加を通じて。男性に家事・育児など家庭での役割意識を働きかけた。 パパママ教室:全6クール終了(うち日曜日開催3回) 参加人数(延):妊婦172人、パートナー102人	-	継続	活動指標	開催回数(クール)※1クール=3回						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	6	6	6	6	6	
								実績	6	6	6	6	6		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	実施場所(カ所)	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
15	ライフステージに応じた啓発	思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフステージに応じた講座等を開催し、性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行う。	介護保険課	【施策番号5と同じ】	【施策番号5と同じ】	【施策番号5と同じ】	継続	活動指標	実施場所(カ所)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	2	1	2	2	1		
								評価	-	C	B	B	C		
15	ライフステージに応じた啓発	思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフステージに応じた講座等を開催し、性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行う。	人権教育課	男女共生教育に関するリーフレットを作成し、小中学校へ配付する。 対象学年:小学1年生・小学5年生・中学2年生	男女共生教育リーフレットを全小中学校に配付するとともに、男女共生教育担当者会で、活用方法などを説明した。実施後、活用アンケートを行い、取組み状況の確認をした。	-	継続	活動指標	男女共生教育に関するリーフレット配布校数(校)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	36	36	36	36	36	
								実績	36	36	36	36	36		
								評価	-	B	B	B	B		
15	ライフステージに応じた啓発	思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフステージに応じた講座等を開催し、性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行う。	生涯学習課	各年代に応じた、固定的な役割分担意識の払拭に向けた講座を開催する。	短期講座「赤ちゃんのための夏対策講座」(12名参加)・「中学生でもわかる!はじめての株・投資」(6名参加)・「親子で学ぶはじめての投資の基本のき」(大人6名・子ども9名参加)・「パパ・ママがもうダメとなる前に～東洋医学編～」(大人8名 子ども5名参加)	-	継続	活動指標	講座の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	25	25	3	3	3	
								実績	20	15	1	3	4		
								評価	-	C	C	B	A		
16	市職員・指定管理者等、施設運営に関わる人への学習機会の提供	施設運営に関わる人の男女共同参画意識を高めるための研修を実施するとともに、指定管理者に従業員研修を義務付ける。	人権・男女共同参画課	職員研修を実施する際に、研修内容以外にも男女共同参画に関するトピックについて周知していく。	職員研修の際に、大阪府発行の「男女共同参画社会の実現をめざす表現ガイドライン」について案内した。	-	継続	活動指標	職員研修の実施(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	20	7	7	7	7	
								実績		31	8	8	8		
								評価	-	A	A	A	A		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの						
								活動指標	情報発信回数(回)					
17	事業所への学習 機会の提供	関係団体と協力して、事業所に対して性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた研修会を実施するとともに、様々な手段を活用して事業所に情報発信を行う。	人権・男女共同参画課	性別による固定的な役割分担意識の払拭に関する講座を実施する際、企業支援メールマガジンで開催の周知を行う。	男性育休をテーマとした「きしわだ男女共同参画フォーラム」や、アンコンシャスバイアスについての内容も含んだ「ハラスメント防止研修」(岸和田商工会議所と共催)の開催について、事業所メールマガジンで周知を行った。	-	継続	活動指標	情報発信回数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	1	1	1	1
								実績		0	1	2	2	
								評価	-	D	B	A	A	
17	事業所への学習 機会の提供	関係団体と協力して、事業所に対して性別による固定的な役割分担意識の払拭に向けた研修会を実施するとともに、様々な手段を活用して事業所に情報発信を行う。	産業政策課	【施策番号8】 ●「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内容案の候補として検討する。 ●人権・男女共同参画課等からの依頼により、講座参加事業所に対して性別による固定的役割分担意識の払拭に関する情報発信を行う。	他の講座内容が優先されたため、実施できなかった。	実施できなかったため。	継続	活動指標	情報発信回数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	2	2	2	2	2
								実績	0	0	1	0	0	
								評価	-	D	C	D	D	
18	性別による固定的な役割分担意識を助長する表現の見直し	情報発信の際は、男女共同参画の視点を持ち、性別による固定的な役割分担意識を助長することのない表現とする。	人権・男女共同参画課	●広報物やホームページ作成の際には、性別による役割分担意識を助長する表現とならないよう、課内で十分協議を行う。 ●講座の講師に、大阪府発行「男女共同参画社会の実現をめざす表現ガイドライン」への配慮を依頼する。	●広報物作成の際には課内で十分に協議を行った。 ●講師依頼の際、イラストや使用する色や言葉について、大阪府の表現のガイドラインへの配慮を依頼した。	-	継続	活動指標	意見交換					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	-	-	-	-	-
								実績		-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B	
19	市・市民・事業者・教育関係者による推進体制の整備	関係団体と連携し、市・市民・事業者・教育関係者が協働して本プランを推進する体制を整備する。	人権・男女共同参画課	岸和田商工会議所と連携し、事業所対象に講座を開催する。	岸和田商工会議所と共催で、事業所対象「ハラスメント防止研修～心理的安全性のある職場づくり～」を開催した。商工会議所の会報誌発送時にチラシを同封してもらったり、岸和田市人権啓発企業連絡会会員にチラシを送付したりして、開催について周知を行った(11/26開催・26人参加)。	-	継続	活動指標	推進体制の整備					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	-	-	-	-	-
								実績		-	-	-	-	
								評価	-	B	B	A	A	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
20	男女共同参画推進本部による推進体制のさらなる充実	プランの着実な実施のため、男女共同参画推進本部による推進体制を強化する。	人権・男女共同参画課	●各課の男女共同参画推進本部実務担当者を担当長以上から選任するよう依頼し、プランの推進体制を強化する。 ●重点目標の推進のため、関係課にはたらきかける。	●実務担当者選任依頼の際に、担当長以上から選任するよう依頼した。 ●小・中・高校生への意識調査については、学校現場での円滑な実施のため、特に人権教育課と綿密な連携を行った。岸和田商工会議所との共催講座については、産業政策課でのチラシ配架、人事課と庁内周知について調整するなど、各課と連携を図った。	-	継続	活動指標	推進体制の充実						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	A	A										
21	市職員の意識の向上	市職員が男女共同参画意識をもって施策や日常の業務を進めるために、職員研修等を通じて意識の向上を図る。	人事課	人権問題研修の機会を活用し、男女共同参画をテーマとした研修ができないか検討する。人権や男女共同参画、その他の課題について、関係各課と連携した研修体制を検討する。	以下①、②の研修を実施した。 ①無意識の思い込みをテーマとした人権研修『マンガと偏見の複雑な関係ー登場人物の”見目”と”話し方”から考えるー』をR7年3月に実施した。 ②泉北泉南合同研修において女性活躍推進をテーマとした研修をR7年3月に実施した。	-	継続	活動指標	計画的な研修実施体制の検討・整備(研修参加人数)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	103	151	118	92		
評価	-	C	B	B	B										
21	市職員の意識の向上	市職員が男女共同参画意識をもって施策や日常の業務を進めるために、職員研修等を通じて意識の向上を図る。	人権・男女共同参画課	職員の1/3を対象とした男女のニーズの違いに配慮した避難所運営に関する研修を実施する。研修実施日を複数日設け、参加日を選択できるようにする。	7・8・9・10月に参事以下の職員対象とした男女のニーズの違いに配慮した避難所運営に関する研修を実施し、197人が参加した。研修実施日を複数日設け、参加日を選択できるようにした。	-	継続	活動指標	職員研修の実施(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	20	7	7	7	2	
								実績	-	31	8	8	8		
評価	-	A	A	A	A										
22	各課で男女共同参画を推進するリーダーの育成	男女共同参画に関する施策を円滑に推進するリーダーを育成するため、研修を実施する。	人権・男女共同参画課	男女共同参画推進本部実務担当者研修を実施する。	男女共同参画推進本部幹事・実務担当者を対象に「男女共同参画の基礎知識」(eラーニング)を実施した。受講者123人からアンケートの回答があった。	-	継続	活動指標	男女共同参画実務担当者研修の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	1	1	1	1	1		
評価	-	B	B	B	B										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
23	研修の充実と参加促進	業務に関連づけて考えられる研修内容にしたり、参加しやすい時間帯に開催するなど、職員研修の内容や方法を工夫する。	人事課	研修内容を講義形式のみならず受講生同士が意見交換を行い、情報を共有できる場を設ける。	研修の時間帯を午前と午後の2部制で実施した。また、研修時間内に質疑応答の時間を設ける等、疑問に感じたことを解消する場を設けた。	-	継続	活動指標	研修の充実						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
23	研修の充実と参加促進	業務に関連づけて考えられる研修内容にしたり、参加しやすい時間帯に開催するなど、職員研修の内容や方法を工夫する。	人権・男女共同参画課	【施策番号21と同じ】	【施策番号21と同じ】	-	継続	活動指標	研修の充実と参加促進						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
24	学習機会の提供と充実	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画意識の醸成、スキルアップ、男性の家事参加等、多種多様な講座を開催する。	人権・男女共同参画課	男女共同参画社会の実現に向けて、多種多様な講座を開催する。	●男女共同参画センター登録グループに講師を依頼したり、岸和田商工会議所やNPO法人ここからKitとの共催講座を企画するなど、関係団体との共催講座を複数回実施した。 ●シネマ・デ・シエスタを開催し、男女共同参画センターの周知を行い、男女共同参画に関する情報を発信した。	-	継続	活動指標	講座開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	45	45	27	27	27	
								実績		24	26	30	34		
								評価	-	C	C	A	A		
25	情報発信の拡大	男女共同参画センターそのものの存在と役割を周知するとともに、男女共同参画についての様々な情報発信を行う。	人権・男女共同参画課	男女共同参画センターニュース「クレアシオン」で、講座情報、国の動向に関する情報発信を行う。	●男女共同参画センターニュース「クレアシオン」を年4回発行し、男女共同参画センターでの講座レポートや、男女共同参画白書に関する記事を掲載した。 ●各方面で活躍する女性リーダーへのインタビュー記事を掲載し、女性活躍事例について情報発信を行った。	-	継続	活動指標	男女共同参画センターニュース「クレアシオン」発行回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	6	6	4	4	4	
								実績		6	6	4	4		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
26	相談機能の強化	女性の様々な不安や悩みを解消するとともに自立を支援するため、電話相談・面接相談を実施する。また、気軽に相談できるようSNS等を使った手法を検討する。	人権・男女共同参画課	下記の相談を実施する。 ①カウンセラーによる女性のための面接相談 ②カウンセラーによる女性のための電話相談 ③カウンセラーによる男性のための電話相談 ④DV相談 ⑤困難な問題を抱える女性のための相談(DV以外) ⑥女性の弁護士による法律相談	①女性のための面接相談:10件 ②女性のための電話相談:128件 ③男性のための電話相談:1件 ④DV相談:166件 ⑤困難な問題を抱える女性のための相談(DV以外):65件 ⑥女性の弁護士による法律相談:24件	-	継続	活動指標	電話・面接相談件数(件)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	200	200	200	200	200	
								実績		290	261	237	394		
								評価	-	A	A	A	A		
27	登録グループの育成・支援	男女共同参画社会の実現をめざした活動や学習を行い、一定の要件を満たした団体を、登録グループとして認定し、学習や会合などの活動の場の提供や情報提供、活動等のアドバイス、器材の貸出し等の支援を行う。	人権・男女共同参画課	●登録グループの活動の場の提供 ●活動成果を発表するため、「合同まつり」を開催する。 ●共催講座の開催。	●11/16・17に合同まつりを開催した。 ●男女共同参画センター登録グループ「大阪友の会 泉南方面」の会員を講師に招き、「希望まんじゅう作りとジャーナリストの先駆け 羽仁もと子」を開催した(17人参加)。 ●登録グループ「おじさんきっちゃんきしわだ」の活動報告をセンター誌クレアシオン2月号に掲載した。	-	継続	活動指標	登録グループ数(団体数)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	11	12	12	13	13	
								実績		11	12	12	12		
								評価	-	B	B	B	C		
28	検証方法を含めた実施計画の立案	男女共同参画が、どの程度進んだのか、検証できるような、実施計画作成時には、できるかぎり、数値目標を設定し、数値による評価を行う。数値目標を設定できないものは、評価の理由を明確にする。	人権・男女共同参画課	評価がC・Dの場合、目標に達しなかったり実施できなかった理由を明確に記入してもらい、施策の推進方法について検討する。	実績報告作成時に、評価の理由を明確に記入してもらえるように記入見本を作成した。	-	継続	活動指標	検証方法を含めた実施計画の立案						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
29	男女共同参画推進本部による進行管理	男女共同参画推進本部会議や幹事会、実務担当者会において、進捗状況を把握するとともに、懸案事項や課題などを共有することで、効率的・効果的な進行管理を行う。	人権・男女共同参画課	前年度末に実施計画を作成し、年度当初からプラン推進に取り組む。	前年度中に実施計画を作成し、年度当初からプラン推進に取り組む。	-	継続	活動指標	効果的な進行管理						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	C	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
30	男女共同参画推進審議会による 進行管理	男女共同参画推進審議会においては、客観的な立場から計画の進捗状況を検証し、懸案事項や課題について助言を行いながら進行管理を行う。	人権・男女共同参画課	審議会後に幹事会・実務担当者会を開催し、審議会での意見を共有する。	幹事・実務担当者会・研修の際に、審議会での意見共有を行った。 また、審議会ではプランの進捗状況を考慮して、翌年度の重点目標について議論を行った。	-	継続	活動指標	客観的な立場からの評価・意見の反映方法の確立						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	B	B										
31	小・中・高校での 男女共生教育の 充実	子ども一人ひとりが性別にとらわれることなく自分らしく生きていくことができるよう、年齢に応じた男女共生教育の取組を進める。	産業 高校 学務課	人権・男女共同参画課協力のもと、啓発資料等を教諭・生徒に配布する。	男女共生やLGBTQについて授業で取り上げた	-	継続	活動指標	男女共生教育の推進						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										
31	小・中・高校での 男女共生教育の 充実	子ども一人ひとりが性別にとらわれることなく自分らしく生きていくことができるよう、年齢に応じた男女共生教育の取組を進める。	学校 教育課	「特別の教科 道徳」において、誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接することについて丁寧に指導するよう、各校に周知する。	道徳教育推進教師連絡会を実施し、道徳科における重点的な取組について共有した。参加者は36名。また、道徳教育研修会を実施し、「考え、議論する道徳」について研修を行った。参加者は41名。	-	継続	活動指標	「特別の教科 道徳」において、内容項目を丁寧に指導することを各校へ周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										
31	小・中・高校での 男女共生教育の 充実	子ども一人ひとりが性別にとらわれることなく自分らしく生きていくことができるよう、年齢に応じた男女共生教育の取組を進める。	人権 教育課	【施策番号15と同じ】	【施策番号15と同じ】	-	継続	活動指標	男女共生教育に関するリーフレット配布校数(校)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	36	36	36	36	36	
								実績		36	36	36	36		
評価	-	B	B	B	B										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
32	性別による固定的な役割分担意識にとらわれない進路指導・キャリア教育	性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく進路を選択できるよう、系統的・継続的なキャリア教育を行う。	産業高校学務課	人権・男女共同参画課協力のもと、啓発資料等を教諭・生徒に配布する。	啓発資料の配布を行った。就職者、進学者とも性差をつけることなく進路を紹介している。	-	継続	活動指標	啓発資料等の配布						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
32	性別による固定的な役割分担意識にとらわれない進路指導・キャリア教育	性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく進路を選択できるよう、系統的・継続的なキャリア教育を行う。	学校教育課	各校園が「キャリア教育年間計画」に基づいた進路指導・キャリア教育を進めること、また「キャリア・パスポート」を活用すること等により固定的な役割分担意識にとらわれることなく進路を選択できるよう、系統的・継続的なキャリア教育を行う。	キャリア教育の担当者会を計画的に実施。「キャリアパスポート」も、全校で活用が進んでいる。	-	継続	活動指標	「キャリア・パスポート」活用の推進						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
32	性別による固定的な役割分担意識にとらわれない進路指導・キャリア教育	性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく進路を選択できるよう、系統的・継続的なキャリア教育を行う。	人権教育課	男女共生教育担当者会や人権教育研修会等を通じて、性別による固定的な役割分担意識にとらわれない進路指導・キャリア教育について、各教職員の共通認識を図る。	男女共生教育担当者会で、大阪府教育委員会が作成したリーフレット「男女共同参画社会をめざす学校づくり」を配付、説明し、固定的な性別役割分担意識にとらわれないための教材を紹介するなどした。また、府民意識調査や子どもたちの生活白書などのデータを活用し、国の動向なども紹介した。	-	継続	活動指標	男女共生教育担当者会等への参加者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	61	61	61	59	58	
								実績	61	61	61	61	59		
								評価	-	B	B	B	B		
33	性別による固定的な役割分担意識の解消	子ども一人ひとりが男女共同参画の意識を育み、固定的な役割分担意識にとらわれず、その能力や個性を尊重した生き方を選択できるよう教育を行う。	人権・男女共同参画課	幼稚園・保育所(園)等で、子どもを対象に講座を開催する。	幼稚園・保育所9園に対して、出前講座を開催。性別による思い込みを払拭したり、性別に関わらず自分が興味を持ったことに挑戦できるということを伝えた。また、講座実施後に講師、教諭・保育士間で振り返りを行い、講座の目的や効果などについて、情報共有を図った。	-	継続	活動指標	教育委員会との情報共有						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	B	B	A	A		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
33	性別による固定的な役割分担意識の解消	子ども一人ひとりが男女共同参画の意識を育み、固定的な役割分担意識にとらわれず、その能力や個性を尊重した生き方を選択できるよう教育を行う。	人権教育課	【施策番号15と同じ】	【施策番号15と同じ】	-	継続	活動指標	男女共生教育に関するリーフレット配布校数(校)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	36	36	36	36	36	
								実績	36	36	36	36	36		
								評価	-	B	B	B	B		
34	教職員・保育士への学習機会の提供	教職員に対し、大阪府等が実施する教育現場において必要となる各種研修(子に関する人権研修含む)に関し情報提供を行い、学習機会を提供する。	人権・男女共同参画課	教職員などを対象に、子どもに接する際に必要な視点を学ぶための研修を実施する。	幼稚園・保育所9園に対する出前講座実施後に、講師、教諭・保育士間で振り返りを行い、講座の目的や効果などについて、情報共有を図った。教職員対象研修は実施年度でないため、実施せず。	-	継続	活動指標	研修の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	-	1	-	1	
								実績		1	-	8	-		
								評価	-	B	-	A	-		
34	教職員・保育士への学習機会の提供	教職員に対し、大阪府等が実施する教育現場において必要となる各種研修(子に関する人権研修含む)に関し情報提供を行い、学習機会を提供する。	子育て施設課	●保育施設等の職員に男女共同参画に関する職員研修を積極的に周知し、研修への参加を促すとともに、各保育施設等で研修内容の共有を図る。 ●関係課と協力して男女共同参画に関する研修の開催や情報提供について検討する。(保育所等施設)	●保育所等の職員に男女共同参画に関する職員研修を周知し、研修参加を促したが、参加者はなかった。 ●保育所長会で人権・男女共同参画課の出前講座の案内をし、11園中、10園の保育所から参加の申し込みがあった。そのうち6園で出前講座を実施し、16人の保育所職員が講座及び講座後の振り返りに参加した。	目標の人数を下回ったため。	継続	活動指標	男女共同参画に関する研修会への参加人数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	214	20	20	20	20	
								実績	-	0	0	34	16		
								評価	-	D	D	A	C		
34	教職員・保育士への学習機会の提供	教職員に対し、大阪府等が実施する教育現場において必要となる各種研修(子に関する人権研修含む)に関し情報提供を行い、学習機会を提供する。	教育総務部総務課	教職員に対し、大阪府等が実施する教育現場において必要となる各種研修(子に関する人権研修含む)に関し情報提供を行い、学習機会を提供する。	人権問題研修「ヤングケアラーの現状と課題」開催案内を通知(8月)	-	継続	活動指標	研修に関する情報提供						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
34	教職員・保育士への学習機会の提供	教職員に対し、大阪府等が実施する教育現場において必要となる各種研修(子に関する人権研修含む)に関し情報提供を行い、学習機会を提供する。	人権教育課	【施策番号32・33参照】男女共生教育担当者会や人権教育研修会等を実施することで、さまざまな課題に沿った学習の機会を提供する。	男女共生教育担当者会で、大阪府教育委員会が作成したリーフレット「男女共同参画社会をめざす学校づくり」を配付、説明し、固定的な性別役割分担意識にとられないための教材を紹介したり、人権教育研修会では、性の多様性に関する研修等、教職員に対する学習機会を提供した。	-	継続	活動指標	男女共生教育担当者会等への参加者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	61	61	61	59	58	
								実績	61	61	61	61	59		
								評価	-	B	B	B	B		
35	保護者への学習機会の提供	保護者に対して男女共同参画の視点を取り入れた研修会や講演会を開催するなど、学習機会を提供する。	人権・男女共同参画課	保護者や地域で子どもに関わる人を対象とした講座を開催する。	「きしわだ男女共同参画フォーラム」(44人参加)、「スマホ時代の子ども達のために～ネット犯罪の被害者にも加害者にもならない!～」(14人参加)、「親子でサイエンス・クッキング」(37人参加)、「親子で日曜大工」(18人参加)を開催した。	-	継続	活動指標	講座開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	2	-	2	-	
								実績		-	2	7	4		
								評価	-	-	A	A	A		
35	保護者への学習機会の提供	保護者に対して男女共同参画の視点を取り入れた研修会や講演会を開催するなど、学習機会を提供する。	人権教育課	「人権を守る作品展」の実施や「人権作品集なかま」を作成し、配付する。子どもたちの作品を通じて、能力や個性を尊重することの大切さ、人権感覚の向上等について学ぶ機会とする。	12/6～12/8「人権を守る作品展」をマドカホールで実施した。3月中に「人権作品集なかま」を作成し、各学校園を通じて保護者に配付し、差別を許さない基盤づくりや人権感覚の向上を図り、多様性を尊重する大切さについて学ぶ機会とした。	-	継続	活動指標	作品展来場者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1200	1200	1200	1200	1200	
								実績	1100	1158	1259	1201	1362		
								評価	-	C	A	B	A		
35	保護者への学習機会の提供	保護者に対して男女共同参画の視点を取り入れた研修会や講演会を開催するなど、学習機会を提供する。	生涯学習課	家庭教育学級の活動を支援する。また、学級生を増やすため、合同学習会を実施する。	家庭教育学級の学級生を増やすため、家庭教育学級合同学習会「親子のタイムマネジメント～魔法のスケジューリング術～」(参加者35名)を実施。子どもだけではなく保護者自身も自己実現のためにタイムマネジメントを実行する大切さとコツについて学んだ。	-	継続	活動指標	新規家庭教育学級数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	1	1	1	1		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
36	地域で子どもに関わる人への学習機会の提供	子どもたちが性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、その能力や個性を尊重した生き方を選択することを支援できるよう、地域で子どもに関わる人たちに対して研修会や講演会を開催する。	人権・男女共同参画課	【施策番号35と同じ】	【施策番号35と同じ】	-	継続	活動指標	研修の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	2	-	2	-	
								実績		-	2	7	4		
評価	-	-	B	A	A										
37	仕事と子育て、仕事と介護の両立等に関する支援体制の充実	仕事と子育て、仕事と介護等の両立のための制度について、様々な手段を通して情報発信をする。また、多様な働き方を選択できる環境整備をする。	人事課	各種制度について全職員への周知を行う。また、休暇取得予定者及び所属長に対し、個別に制度の説明を行う。	各種制度について、全職員が確認できるよう、庶務研修資料としてデータで共有できた。	-	継続	活動指標	各種制度の情報発信						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
評価	-	D	B	B	B										
37	仕事と子育て、仕事と介護の両立等に関する支援体制の充実	仕事と子育て、仕事と介護等の両立のための制度について、様々な手段を通して情報発信をする。また、多様な働き方を選択できる環境整備をする。	人権・男女共同参画課	介護や子育てに関する講座開催の際に、各種制度の案内チラシ、パンフレット等を配布し、仕事との両立支援に関する情報提供を行う。	「働き方改革推進支援助成金(労働時間の削減や年次有給休暇の促進に向けた環境整備に取り組む中小企業事業主支援制度)」や、10月の「年次有給休暇取得促進期間」について、事業所メールマガジンで情報提供した。	-	継続	活動指標	各種制度に関する情報提供						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										
37	仕事と子育て、仕事と介護の両立等に関する支援体制の充実	仕事と子育て、仕事と介護等の両立のための制度について、様々な手段を通して情報発信をする。また、多様な働き方を選択できる環境整備をする。	産業政策課	【施策番号8参照】他機関からの依頼により、「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座参加者に対して情報発信を行う。	他の講座内容が優先されたため、実施できなかった。	実施できなかったため。	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	0	1	1	0	0		
評価	-	C	C	D	D										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
38	学習機会の提供・情報提供	女性の就職・再就職や起業に関する講座を開催するとともに、様々な手段を通じて情報を提供する。	人権・男女共同参画課	今年度は、実施年度ではないため、実施しない予定。	実施年度でないため、実施せず。	-	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	3	-	3	-	3	
								実績		3	-	3	-		
								評価	-	B	-	B	-		
38	学習機会の提供・情報提供	女性の就職・再就職や起業に関する講座を開催するとともに、様々な手段を通じて情報を提供する。	産業政策課	資格取得講座を開催し、就労支援を行う。(取得可能資格:介護職、フォークリフト)また、必要に応じて「岸和田ビジネスサポートセンター Kishi-Biz(キシビズ)」などを紹介する。	介護職員初任者研修では、女性が7名参加した。	参加人数が少なかったため。	継続	活動指標	セミナー参加者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	75	75	75	75	75	
								実績	70	46	16	6	7		
								評価	-	C	C	C	C		
39	女性の能力開発とスキルアップへの支援	就職や再就職、起業を希望する女性を対象に、情報提供や相談、能力開発やスキルアップのための講座等を開催する。	人権・男女共同参画課	【施策番号38と同じ】	実施年度でないため、実施せず。	-	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	3	-	3	-	3	
								実績		3	-	3	-		
								評価	-	B	-	B	-		
39	女性の能力開発とスキルアップへの支援	就職や再就職、起業を希望する女性を対象に、情報提供や相談、能力開発やスキルアップのための講座等を開催する。	生活福祉課	生活保護受給中の女性に対して、将来的に自立できるよう、就労支援プログラムを利用して就労の機会を増やす。	就労支援対象者に対して、早期自立につながるよう、就労支援プログラムの利用を促した。	生活保護受給者等就労自立促進事業実施計画における岸和田市の就職目標数で定められている就職率を目標値に定めているが、その目標達成までには至らない。	継続	活動指標	4月1日時点の就労支援対象者の就職率(%)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	67	67	67	67	67	
								実績	53.1	56.2	52.6	52.5	50.8		
								評価	-	C	C	C	C		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	支給者数(人)	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
39	女性の能力開発とスキルアップへの支援	就職や再就職、起業を希望する女性を対象に、情報提供や相談、能力開発やスキルアップのための講座等を開催する。	子育て支援課	【R6より子ども家庭課から子育て支援課へ移管】 自立して安定した生活を送るために資格取得をめざすひとり親家庭の母および父に対し、就職に繋がるキャリアアップ研修受講に対する給付金を支援するとともに、ハローワークと連携して就労支援を行う。 【該当給付金事業】・高等職業訓練促進給付金事業・自立支援教育訓練給付金事業	高等職業訓練促進給付金事業 支給件数:25件 自立支援教育訓練給付金事業 支給申請件数:5件	-	継続	活動指標	支給者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	30	30	30	30	30	
								実績	32	33	37	33	30		
								評価	-	A	A	A	B		
39	女性の能力開発とスキルアップへの支援	就職や再就職、起業を希望する女性を対象に、情報提供や相談、能力開発やスキルアップのための講座等を開催する。	産業政策課	【施策番号38】 資格取得講座を開催し、就労支援を行う。(取得可能資格:介護職、フォークリフト)また、必要に応じて「岸和田ビジネスサポートセンター Kishi-Biz(キシビズ)」などを紹介する。	施策番号38と同じ	施策番号38と同じ	継続	活動指標	セミナー等参加者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	75	75	75	75	75	
								実績	70	46	16	6	7		
								評価	-	C	C	C	C		
40	就職・再就職・起業を支援する仕組みづくり	就職・再就職・起業を希望する人が、必要な情報を得ることができる仕組みづくりについて検討する。	人権・男女共同参画課	大阪府や岸和田公共職業安定所等の各種案内について情報コーナーに配架し周知する。	大阪府が作成した、育児・介護などがあっても働き続けることを支援する制度を掲載した冊子や、離職者等再就職訓練の案内を情報コーナーに配架している。	-	継続	活動指標	情報提供のしくみづくり						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
40	就職・再就職・起業を支援する仕組みづくり	就職・再就職・起業を希望する人が、必要な情報を得ることができる仕組みづくりについて検討する。	産業政策課	市ホームページで、「岸和田・貝塚合同就職面接会」や「きしわだ就職フェア」を各種資格取得講座の情報を発信する。また、ハローワークや関係機関の情報や他機関による関連講座の情報に関するURLを掲載する。	市ホームページで、「岸和田・貝塚合同就職面接会」や「きしわだ就職フェア」、各種資格取得講座の情報を発信している。また、ハローワークや関係機関の情報や他機関による関連講座の情報に関するURLを掲載した。	該当する事業が少なかつたため。	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	12	12	12	12	12	
								実績	8	9	5	7	5		
								評価	-	C	C	C	C		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
41	事業所への学習 機会の提供	男女共同参画の視点を活かした企業経営のための講習会等を実施するなど、事業所に対して学習機会を提供する。	人権・男女共同参画課	●岸和田商工会議所と連携し、事業所対象に講座を開催する。 ●男女共同参画センターで開催する講座のうち、関連するものについて、事業所に情報提供を行う。	●岸和田商工会議所と共催で、事業所対象に「ハラスメント防止研修」を開催した。(11/26開催・26人参加) ●男女共同参画センターで開催する講座のうち、関連するものについて、人企連や商工会議所、メールマガジンを通じて、事業所に情報提供を行った。	-	継続	活動指標	研修会の実施・情報提供(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		1	0	3	3		
								評価	-	B	D	A	A		
41	事業所への学習 機会の提供	男女共同参画の視点を活かした企業経営のための講習会等を実施するなど、事業所に対して学習機会を提供する。	産業政策課	「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内内容の候補として検討する。	他の講座内容が優先されたため、実施できなかった。	実施できなかったため。	継続	活動指標	当該テーマの講座開催回数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	0	1	0	0		
								評価	-	D	B	D	D		
42	女性活躍推進に関する情報発信	国の動向・新たな制度について、絶えずアンテナを張り、必要な情報をわかりやすく事業所に伝える。	人権・男女共同参画課	広報やホームページ、「企業支援メールマガジン」で、情報発信を行う。	国の動向や制度について、ホームページやメールマガジンで情報発信を行った。	-	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	3	3	3	3	3	
								実績		0	3	5	3		
								評価	-	D	B	A	B		
43	「えるぼし認定」「くるみん認定」制度の周知と普及の仕組みづくり	厚生労働省が認定する「えるぼし」「くるみん」制度に関する情報を事業所に発信するとともに、市独自の優良企業の表彰制度について調査・研究する。	人権・男女共同参画課	「えるぼし認定」「くるみん認定」に関する制度について市内事業者に対して広く情報提供を行う。	事業所メールマガジンで、「大阪府男女いきいき事業者表彰」(女性活躍推進に積極的に取り組む事業者を表彰)について周知し、動機付けの機会を作った。	-	継続	活動指標	制度普及のための取組						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	C	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
43	「えるぼし認定」「くるみん認定」制度の周知と普及の仕組みづくり	厚生労働省が認定する「えるぼし」「くるみん」制度に関する情報を事業所に発信するとともに、市独自の優良企業の表彰制度について調査・研究する。	契約検査課	令和6年の総合評価入札において落札者決定基準の評価項目とする。	令和6年度実施した総合評価入札において、入札参加者の「えるぼし」「くるみん」認定取得の有無を評価し、加点対象とした。	-	継続	活動指標	総合評価競争入札の落札者決定基準の検討						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	B	B										
44	一般事業主行動計画の周知・啓発	「一般事業主行動計画」についての情報や、計画策定に関する国の支援についての情報を事業所に発信する。	人権・男女共同参画課	一般事業主行動計画についての情報や、国の支援に関する情報を、企業支援メールマガジン等で発信する。	企業支援メールマガジン(3月)にて発信した。	-	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		0	2	1	1		
評価	-	D	A	B	B										
45	事業所における男女共同参画に関する意識調査の実施	市内事業所における男女共同参画に関する意識調査を実施する。平成30年度実施の調査と比較し、進んだ点や課題を整理し、今後の施策に活かす。	人権・男女共同参画課	令和5年度に市内事業所に対して、男女共同参画に関する意識調査を実施済	-	-	継続	活動指標	調査の実施(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	1	-	-	
								実績		-	-	1	-		
評価	-	-	-	B	-										
46	市職員・教職員へのワーク・ライフ・バランスに関する理解促進	一人ひとりが仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活ができるよう、市職員・教職員にワーク・ライフ・バランスの理解を促進するための情報発信を行う。	人事課	時間外勤務の考え方、休暇や育児休業の取得など、変わりつつあるライフスタイルの情報収集を行い、本市職員の現状を把握し、必要に応じ情報発信を行う。	長時間の時間外勤務を行っている職員とその所属長に対し実績報告を行い、時間外勤務削減のための業務改善等を検討してもらう。ノー残業デーを設定し、定時退庁を促す。また出退勤システムの取組として、一定時間以上の時間外勤務時間を行っている職員に対し警告文章が表示され、また対象者がリスト化されるように設定している。	-	継続	活動指標	年次有給休暇取得促進に関する文書送付回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	1	1	1	1	1		
評価	-	B	B	B	B										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
46	市職員・教職員へのワーク・ライフ・バランスに関する理解促進	一人ひとりが仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活ができるよう、市職員・教職員にワーク・ライフ・バランスの理解を促進するための情報発信を行う。	人権・男女共同参画課	ワーク・ライフ・バランスに関する講座を開催した際に、市職員・教職員へ周知を行う。	きしわだ男女共同参画フォーラム「男性育休」を有効活用～本人・周りの育児参画のコツを考える～について、人事課と協力し庁内各課へ周知。職員の参加につながった。	-	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	I	I	I	I	I	
								実績		0	I	I	I		
								評価	-	D	B	B	B		
46	市職員・教職員へのワーク・ライフ・バランスに関する理解促進	一人ひとりが仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活ができるよう、市職員・教職員にワーク・ライフ・バランスの理解を促進するための情報発信を行う。	教育総務部総務課	仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活をめざし、ワーク・ライフ・バランスの理解を深めるための、研修等の機会などを通じ、ちらし等で情報発信を行う。	仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活ができるよう、市職員・教職員にワーク・ライフ・バランスの理解を促進するための情報発信を行った(6月)	-	継続	活動指標	ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
47	市民・事業所へのワーク・ライフ・バランスに関する学習機会の提供	一人ひとりが仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活ができるよう、講座等を開催し、ワーク・ライフ・バランスの理解を促進する。	人権・男女共同参画課	ワーク・ライフ・バランスに関する講座を開催する。	きしわだ男女共同参画フォーラム「男性育休」を有効活用～本人・周りの育児参画のコツを考える～を開催した(44人参加)。	-	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	I	-	I	-	
								実績		-	I	4	I		
								評価	-	-	B	A	B		
47	市民・事業所へのワーク・ライフ・バランスに関する学習機会の提供	一人ひとりが仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活ができるよう、講座等を開催し、ワーク・ライフ・バランスの理解を促進する。	産業政策課	【施策番号41】 「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内容案の候補として検討する。	●9月4日に「雇用労働講座」にて「ハラスメント対策」についての講座を実施した。参加者は49名だった。 ●3月5日に「知って得する労働問題講座」にて「職場のメンタルヘルスケアやメンタルヘルス不調による休職者の職場復帰に向けた支援」についての講座を実施した。参加者は41名だった。	-	継続	活動指標	当該テーマの講座開催回数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	I	I	I	I	I	
								実績	0	0	I	0	2		
								評価	-	D	B	D	A		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
47	市民・事業所へのワーク・ライフ・バランスに関する学習機会の提供	一人ひとりが仕事と家事・育児・地域での活動がバランスよく調和した生活ができるよう、講座等を開催し、ワーク・ライフ・バランスの理解を促進する。	生涯学習課	仕事をしている人が参加しやすいように、平日夜間や土日に、趣味や地域の課題解決等、ワーク・ライフ・バランスのための講座を開催する。	短期講座「魅せるwalking」(8名参加)を日曜に、「ゆうきゆう先生のこっそり素早く『言い返す技術』(大人21名、子ども1名)を土曜に実施。 学び舎ネットワーク事業「公民館キャンドルナイト～キャンドル作り&演奏会～」(59名)を日曜夜に実施。	-	継続	活動指標	講座の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	1	1	3	2	3		
								評価	-	B	A	A	A		
48	市職員・教職員の時間外勤務の削減	「時間外勤務の適正管理に関する指針」に定められた取組事項を進めるとともに、効率的、効果的な業務の進め方を考え、時間外勤務の削減を図る。	人事課	産業医面談の実施や、周囲からの声掛けを行うなど、時間外勤務を可視化させ、自他ともに気付きを促すための取組を行う。	時間外勤務の適正管理に関する指針により、時間外勤務の事前命令を徹底させ、定時退庁日・週休日・休日に出勤する際には、事前の報告書の提出を義務付けている。また、月45時間超の職員がある場合や、年間360時間超の職員がある場合には、報告書の提出を義務付け、時間外勤務の事由および縮減方法を検討してもらっている。また、8月を「働き方改革推進強化月間」として定時退庁の取組を実施した。	-	継続	活動指標	全職員の時間外勤務時間数(ひとりあたり時間)※病院・消防は除く						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	93	93	85	85	85	
								実績	93	108	126	127	124		
								評価	-	C	C	C	C		
48	市職員・教職員の時間外勤務の削減	「時間外勤務の適正管理に関する指針」に定められた取組事項を進めるとともに、効率的、効果的な業務の進め方を考え、時間外勤務の削減を図る。	教育総務部総務課	学校の管理職や職場代表、教育委員会関係課と協議を行い、業務負担軽減策を検討する。また、産業医による職員との個別面談を実施する。	業務負担軽減会議を開催し、継続して協議を重ねている。 長時間労働が常態化している教員及び高ストレス職員を対象に、産業医面談を実施した。	-	継続	活動指標	教職員の時間外勤務削減方法の検討						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
49	市職員・教職員の計画的な有給休暇取得促進	所属長が取得促進を推奨し、職場全体で相互応援できる体制を整備することで、計画的な休暇取得の促進を図る。	人事課	職員に向けた年次有給休暇の取得促進を呼びかけるとともに、所属長にも各職員の年次有給休暇の取得状況を把握してもらいながら、ワーク・ライフ・バランスに留意してもらおう。また、労働基準法に基づく「年5日の年次有給休暇の取得」について周知についても徹底する。	4月～3月末時点の有給休暇取得者数1,416人、総取得時間は147,532時間。(※正職・再任用職員のみ、看護師等、小中学校幼稚園職員は除く)	-	継続	活動指標	年次有給休暇の平均取得日数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	10	10	10	11	11	
								実績	9.6	11.9	14	15	13.4		
								評価	-	A	A	A	A		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの						
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
49	市職員・教職員の計画的な有給休暇取得促進	所属長が取得促進を推奨し、職場全体で相互応援できる体制を整備することで、計画的な休暇取得の促進を図る。	人権・男女共同参画課	計画的な年次有給休暇取得のために職員相互の理解を促進する。	庁内情報紙「パートナー」を発行できず、有給休暇取得促進に関する情報発信はできなかった。	「パートナー」を発行できず、庁内への周知機会がなかったため。	継続	活動指標	情報発信回数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	1	1	1	1
								実績	-	0	0	0	0	
								評価	-	D	D	D	D	
49	市職員・教職員の計画的な有給休暇取得促進	所属長が取得促進を推奨し、職場全体で相互応援できる体制を整備することで、計画的な休暇取得の促進を図る。	教育総務部総務課	夏季等の長期休業中における年次有給休暇取得を推奨する。	教職員(市職員)に対し、休暇取得を促すための通知を行った(12月)。	-	継続	活動指標	年5日の年次有給休暇取得者率(%)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	100	100	100	100	100
								実績		91	100	100	100	
								評価	-	C	B	B	B	
50	事業所における働き方改革の推進	国の動向・新たな制度について、絶えずアンテナを張り、必要な情報をわかりやすく事業所に伝え、事業所における働き方改革の推進を図る。	人権・男女共同参画課	事業所に対して、国の動向等の情報提供を行う。	「働き方改革推進支援助成金(労働時間の削減や年次有給休暇の促進に向けた環境整備に取り組む中小企業事業主支援制度)」や、10月の「年次有給休暇取得促進期間」について、事業所メールマガジンで情報提供した。	-	継続	活動指標	研修会の実施・情報提供(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	1	1	1	1
								実績		1	0	1	2	
								評価	-	B	D	B	A	
50	事業所における働き方改革の推進	国の動向・新たな制度について、絶えずアンテナを張り、必要な情報をわかりやすく事業所に伝え、事業所における働き方改革の推進を図る。	産業政策課	国の動向や新たな制度等について、「企業支援メールマガジン」登録事業者に対して情報発信する。	実施できなかった。	実施できなかったため。	継続	活動指標	情報発信回数(回数)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	2	2	2	2	2
								実績	0	3	3	3	0	
								評価	-	A	A	A	D	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
51	地域活動やボランティア等への参加促進のための仕組みづくり	地域活動やボランティア活動への支援、情報発信、交流会の開催、交流スペースの提供等を行う。	自治振興課	市民活動サポートセンターにおいて、地域活動やボランティア活動への支援、情報発信、交流会の開催、交流スペースの提供を行う。	地域活動やボランティア活動への参加を促すため、地区市民協議会や市民活動団体の活動について、広報きしわだやホームページで、情報発信を行った。 また、団体の情報発信力向上のため、市民活動サポートセンターで、チラシ作成講座を開催した。 市民活動サポートセンターで、活動団体と活動したい人の橋渡しをした。	-	継続	活動指標	交流スペースの利用者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	500	500	500	500	500	
								実績	498	258	340	500	1000		
								評価	-	C	C	B	A		
51	地域活動やボランティア等への参加促進のための仕組みづくり	地域活動やボランティア活動への支援、情報発信、交流会の開催、交流スペースの提供等を行う。	人権・男女共同参画課	男性の居場所づくりの講座を開催し、参加者の交流を促し、地域での活動に関心をもつきっかけを作る。	「男の居場所～地域デビューのコツ教えます!」講座を開催し、参加者に交流の場を提供、公民館等での講座・活動事例を紹介した。	-	継続	活動指標	活動への参加促進						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	C	B	B	B		
52	市民団体に関する情報発信	各課が所管している市民団体に関する情報を様々な手段を通じて発信する。	人権・男女共同参画課	男女共同参画センターニュース「クリアション」でセンターの登録グループの活動を紹介する。	センター登録グループ「大阪友の会 泉南方面」の会員を講師に迎えた「希望まんじゅう作りとジャーナリストの先駆け 羽仁もと子」講座について、クリアション11月号にレポートを掲載した。また、クリアション2月号にて、登録グループ「おじさんきっちん」の活動報告を掲載した。	-	継続	活動指標	紹介記事掲載回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	6	6	2	2	2	
								実績		3	1	2	2		
								評価	-	C	C	B	B		
53	審議会等の女性委員比率向上への具体的な取組の実施	「岸和田市附属機関への女性の参画促進に関する指針」に基づき、女性委員比率の目標値の達成に向けた具体的な取り組みを実施する。	人権・男女共同参画課	審議会所管課に対して、女性委員比率の目標値達成に向けて工夫した点や困難な理由を聞き取り、工夫したことで良い取り組みがあれば共有する。	女性委員比率の目標達成にあたり、工夫している点・困難と感じている点について照会をした。	-	継続	活動指標	参画率向上のための具体策の共有						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
54	意思決定の場における女性の参画の促進	審議会等附属機関以外の様々な意思決定の場においても、積極的に女性の参画を促進する。	人権・男女共同参画課	審議会等附属機関以外の会議体の委員についても、男女バランスよく選任するようはたらきかける。	働きかけはしたが、成果は得られなかった。	成果として結果に表れなかったため。	継続	活動指標	参画促進の働きかけ						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	B	D	D	D										
55	市職員の管理職の女性比率向上	管理職に必要な能力を身につけるための研修会等を開催するとともに、働きやすい職場環境の整備を行い、女性比率の向上をめざす。	人事課	男女共同参画に関する研修を開催するとともに、働きやすい職場環境の整備を行い、管理職における女性比率の向上をめざす。	【女性人数/全体人数】人/人 (R6.4.1時点) 部長級:4/30(13.3%) 課長級:35/147(23.8%) 主幹級:53/160(33.1%) 担当長級:98/220(44.5%) 主査級:123/238(51.7%) 部長:3/25(12.0%) 課長:17/83(20.5%)	女性の課長級職員数は減ったものの、部長級職員数は増加。しかし、目標値に達していない。	継続	活動指標	課長級の女性職員の割合(%)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	25	26	28	30	30	
								実績	23.4	25.3	25.9	25.3	23.8		
評価	-	A	C	C	C										
55	市職員の管理職の女性比率向上	管理職に必要な能力を身につけるための研修会等を開催するとともに、働きやすい職場環境の整備を行い、女性比率の向上をめざす。	人権・男女共同参画課	管理職経験者等を講師に招き、研修会・講座を開催する。	男女共同参画推進本部幹事・実務担当者を対象に「男女共同参画の基礎知識」(eラーニング)を実施した。 また、本部門研修は実施年度でないため開催しなかったが、独立行政法人国立女性教育会館主催の「女性活躍推進セミナー」の開催について、情報提供した。	-	継続	活動指標	研修会の実施・情報提供(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		0	1	1	1		
評価	-	D	B	B	B										
56	校(園)長・教頭の女性比率向上	能力、適性のある女性の教員に校長等から昇任試験の受験を促すとともに、働きやすい職場環境の整備を行い、管理職の女性比率の向上をめざす。	人権・男女共同参画課	教育委員会に働きかけを行う。	実施計画作成時に、教育委員会に比率向上のための取組を依頼した。	-	継続	活動指標	教育委員会への働きかけ						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	C	B	B	B										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの						
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
56	校(園)長・教頭の女性比率向上	能力、適性のある女性の教員に校長等から昇任試験の受験を促すとともに、働きやすい職場環境の整備を行い、管理職の女性比率の向上をめざす。	教育総務部総務課	能力、適性のある女性の教員が昇任試験の受験の機会が奪われないよう、また研修の機会が得られるよう、平常時から情報発信に努める。また、面談の機会などを通じ、昇任試験の受験を促す。	校長 小学校9名/24名(37.5%) 中学校3名/11名(27.2%) 高校1名/1名(100%) 教頭 小学校5名/24名(20.8%) 中学校2名/12名(16.6%) 高校0名/2名(0%) 対象教員に対し、6月1日に昇任試験受験に関する情報発信を行った。 学校現場における校長との面談機会、市教委との面談機会を活用し、試験の受験を促した。	中学校校長で昨年度比1名増、中学校教頭で昨年度比1名増となったが、管理職全体の割合では、僅かに目標数値に届かなかった。	継続	活動指標	管理職の女性比率(%)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	22	24	26	28	30
								実績	20.3	23	25.7	24.3	27	
								評価	-	A	A	C	C	
57	男女共同参画推進本部の本部員・幹事への研修の実施	本部員・幹事に女性の管理職の積極的な登用の必要性・効果についての研修を実施する。	人権・男女共同参画課	【施策番号55と同じ】	【施策番号55と同じ】	-	継続	活動指標	研修の実施回数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	-	1	-	1
								実績		1	-	1	-	
								評価	-	B	-	B	-	
58	市職員の女性管理職の育成と能力開発	管理職に求められる能力、適性を具体的に示し、その能力を身につける研修を実施する。	人事課	部下とのコミュニケーション研修や、メンタルヘルスに関する研修等を実施し、その他研修会があれば積極的に周知を行う。	新任課長への研修として、 ・議会対応研修 ・障害者差別解消法について ・公務員倫理研修 ・マネジメント研修 管理職リーダー研修として ・ベップトーク研修～やる気を引き出す言葉の力～ を実施し管理職の能力向上に努めた。	-	継続	活動指標	研修の実施回数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	1	1	1	1
								実績	-	1	1	1	1	
								評価	-	B	B	B	B	
58	市職員の女性管理職の育成と能力開発	管理職に求められる能力、適性を具体的に示し、その能力を身につける研修を実施する。	人権・男女共同参画課	【施策番号55と同じ】	【施策番号55と同じ】	-	継続	活動指標	研修会の実施・情報提供(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	1	1	1	1
								実績		0	1	0	1	
								評価	-	D	B	D	B	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
59	男女のバランスを考えた人員配置	性別による固定的な役割分担意識をなくし、能力を重視した人事配置を行う。	人事課	性別にとらわれず、能力を重視した人事配置を行う。	女性の課長級の人数は減少したものの、部長級・担当長級の女性職員数は増加した。	-	継続	活動指標	性別にとらわれない能力を重視した人員配置						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	A	A	A	A		
60	管理職への女性の登用に関する事業所への啓発と支援	事業所に対して、男女共同参画の視点を活かした企業経営に関する情報発信を行うとともに、女性の登用に積極的な事業所について広報紙等で紹介する。	人権・男女共同参画課	国の動向や講演会情報について、「企業支援メールマガジン」等で情報発信する。	女性活躍推進セミナーや男性の仕事と育児両立セミナーなどさまざまなイベントを開催するドーンdeキラリフェスティバルの案内を企業支援メールマガジンで行った。	-	継続	活動指標	研修会の実施・情報提供(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		1	1	1	1		
								評価	-	B	B	B	B		
60	管理職への女性の登用に関する事業所への啓発と支援	事業所に対して、男女共同参画の視点を活かした企業経営に関する情報発信を行うとともに、女性の登用に積極的な事業所について広報紙等で紹介する。	産業政策課	男女共同参画の視点を活かした企業経営に関する情報等について、「企業支援メールマガジン」登録事業者に対して情報発信する。	毎月初めに、事業者や関係団体を対象に配信している企業支援メールマガジンに、管理職への女性の積極的な登用等に関する情報の配信を6回行った。	-	継続	活動指標	情報発信回数(回数)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績		1	1	4	6		
								評価	-	C	C	A	A		
61	地域における男女共同参画に関する学習機会の提供	地域における男女共同参画を進めるため、様々な機会を活用して講座等を実施する。	人権・男女共同参画課	出前講座などを通じ、地域での男女共同参画の推進をはかる。	岸和田市青少年指導員協議会、家庭教育学級、民生委員・児童委員協議会の場において男女共同参画センターの紹介や主催講座の情報提供を行った。	-	継続	活動指標	学習機会の提供(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	20	2	2	2	2	
								実績		13	2	3	3		
								評価	-	C	B	A	A		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの						
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
62	地域活動における意思決定の場への女性の参画促進	地域において、性別によって役割を分けることなく、地域活動の役員に男女がバランスよく選出されるよう働きかける。	人権・男女共同参画課	【施策番号1】 各種団体所管課の協力のもと、団体の会議等の場で、男女共同参画に関するトピックについて伝えるなど、情報提供に努める。	岸和田市青少年指導員協議会、家庭教育学級、民生委員・児童委員協議会の場において男女共同参画センターの紹介や主催講座の情報提供を行った。	-	継続	活動指標	働きかけを行った回数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	2	2	2	2	2
								実績	-	2	2	3	3	
								評価	-	B	B	A	A	
63	地域活動における男女共同参画に関する実態調査の実施	地域活動における男女共同参画に関する状況を把握するために、実態調査を実施する。	人権・男女共同参画課	今年度は、実施年度ではないため、実施しない予定。	実施せず	-	継続	活動指標	地域活動における男女共同参画に関する実態調査の実施(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	-	-	-	-	1
								実績		-	-	-	-	
								評価	-	-	-	-	-	
64	女性リーダーの育成	様々な活動の場で女性がリーダーシップを発揮して活躍できるよう、リーダーに必要な様々な資質や能力、技術を学べる講座を開催する。	人権・男女共同参画課	今年度は、実施年度ではないため、実施しない予定。	実施せず	-	継続	活動指標	講座開催数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	2	-	2	-	2
								実績		2	-	2	-	
								評価	-	B	-	B	-	
64	女性リーダーの育成	様々な活動の場で女性がリーダーシップを発揮して活躍できるよう、リーダーに必要な様々な資質や能力、技術を学べる講座を開催する。	生涯学習課	女性の社会進出に向けて、職業能力向上系講座を開催する。	「ゆうきゆう先生のこっそり素早く『言い返す技術(大人21名、子ども1名)を実施。家庭教育学級合同学習会公開講座として「親子のタイムマネジメント～魔法のスケジュールリング術～(参加者35名)を実施。子どもだけではなく保護者自身も自己実現のためにタイムマネジメントを実行する大切さとコツについて学んだ。	-	継続	活動指標	講座開催数(回)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	1	1	1	1	1
								実績	0	1	1	3	2	
								評価	-	B	B	A	A	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
65	地域で活躍する 人材の発掘	地域で活躍している人材を見出し、「岸和田市女性人材バンク」への登録を促す。	人権・男女共同参画課	市内で活躍する女性について男女共同参画センターニュース「クリアション」などで紹介し、女性リーダーの支援を行っている。	男女共同参画センターニュース「クリアション」を年4回発行し、各方面で活躍する女性リーダーへのインタビュー記事を掲載。女性活躍事例について情報発信を行った。	-	継続	活動指標	令和5年度までは「岸和田市女性人材バンクの登録促進」 令和6年度以降は「女性リーダーの支援」						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	B	C	C	B										
66	人材バンクの整備	「岸和田市女性人材バンク」の登録者を増やすため、NO65で発掘した人材等に対して担当課の協力を得て、登録の呼びかけを行う。	人権・男女共同参画課	必要があれば、ドーン財団の所有する「人材情報提供サービス」(審議会や各種委員会の人材探し、研修の講師探しに利用できる)を紹介する。	相談実績はなかったが、今後相談があれば、ドーン財団の「人材情報提供サービス」について情報提供する。	相談実績がなかったため。	継続	活動指標	制度の周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	B	B	C	C										
67	異業種交流による女性リーダーのネットワークづくり	女性リーダーのネットワークをつくり、情報交換や異業種の組み合わせによる、新たな事業展開につなげる。	人権・男女共同参画課	【施策番号65と同じ】	【施策番号65と同じ】	-	継続	活動指標	令和5年度までは「交流会の検討」 令和6年度以降は「女性リーダーの支援」						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	D	D	D	B										
68	女性の能力開発と人材育成のための学習機会の提供	女性が様々な分野で能力を発揮し活躍できるよう多種多様な講座を開催する。	人権・男女共同参画課	女性のエンパワメントとして、就労やコミュニケーションに関する講座を開催する。	岸和田商工会議所と共催で、事業所対象「ハラスメント防止研修～心理的安全性のある職場づくり～」を開催した。講演では、職場でのハラスメント防止に有効なコミュニケーションの方法について学ぶことができた。	目標の講座開催数に達しなかったため	継続	活動指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	10	10	3	3	3	
								実績		9	3	3	1		
評価	-	C	C	B	C										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
69	市職員への学習 機会の提供	DV窓口担当者会議の 担当者・各課の男女共 同参画実務担当者を中心 に、DVに関する研修 を実施する。	人事課	主幹級以下の全職員を対象と する人権問題研修においてDV 防止をテーマに実施を検討す る。	実施に向けて検討中だが協議が できていない	実施に向けて検討中だが協議が できていないため	継続	活動 指標	計画的な研修実施体制の検討・整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	D	D	D	D		
69	市職員への学習 機会の提供	DV窓口担当者会議の 担当者・各課の男女共 同参画実務担当者を中心 に、DVに関する研修 を実施する。	人権・ 男女共 同参画課	相談窓口担当者会議を開催す る。	DV窓口担当者会議を開催し、 27人が参加した。各課共通DV 被害者対応マニュアルについて 周知、DV等被害者への対応方 法や各課の支援方法について情 報共有を行った。また、困難女性 に関する支援調整会議の開催の 際は参加を依頼することがある など、新法についての説明も行っ た。	-	継続	活動 指標	職員研修・会議の開催(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	1	1	
								実績		2	1	1	1		
								評価	-	B	C	C	B		
70	中・高校生への 学習機会の提供	若い世代がDVについて 正しく理解し、加害者にも 被害者にもならないよう、市内 の中学生・高校生に対して学習 機会を提供する。	人権・ 男女共 同参画課	市立中学校・高等学校でデート DV予防啓発講座を実施する。	「デートDV予防啓発講座」を8 中学校で開催。	-	継続	活動 指標	デートDV予防啓発講座開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	5	7	6	7	7	
								実績		5	6	5	8		
								評価	-	B	C	C	A		
70	中・高校生への 学習機会の提供	若い世代がDVについて 正しく理解し、加害者にも 被害者にもならないよう、市内 の中学生・高校生に対して学習 機会を提供する。	産業高 校学務課	DVに関する講座や啓発資料等 について教諭や生徒に周知す る。啓発講座の受講を勧奨す る。	実施できていない	今年度は、性教育やSNSなど他 のテーマでの研修を実施したた め、DVをテーマにした研修は出 来なかった	継続	活動 指標	DVに関する講座や啓発資料等の周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	D	B	D		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
70	中・高校生への 学習機会の提供	若い世代がDVについて 正しく理解し、加害者にも 被害者にもならないよう、 市内の中学生・高校生に 対して学習機会を提供する。	学校 教育 課	各校園に対して子どもたちが 自尊感情を高め、相手にも 優しい心をもてるような取 組みを促進する。	指導主事が各校園を訪問 した際、教職員に対して適 宜指導を行った。	-	継続	活動 指標	デートDV予防啓発講座の活用促進						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	B	B										
70	中・高校生への 学習機会の提供	若い世代がDVについて 正しく理解し、加害者にも 被害者にもならないよう、 市内の中学生・高校生に 対して学習機会を提供する。	人権 教育 課	●市内の中高校生に対して、 人権教育や道徳教育等の教 材を各学校へ周知した。 ●人権・男女共同参画課と 連携し、市内学校に対して デートDV啓発講座について 周知する。	●「女性に対する暴力をなく す運動」の実施や大阪府、 大阪府配偶者等からの暴力 の防止及び被害者支援ネッ トワークが主催するセミナー を各学校へ周知した。 ●人権・男女共同参画課と 連携し、市内の中学校で「 デートDV予防啓発講座」を 実施した。	人権・男女共同参画課と 連携し、学習機会を提供し たため。	継続	活動 指標	人権教育や道徳教育等を 学校通じて情報提供を行う。						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										
71	市民や事業所への 学習機会の提供	市民や事業所に対して、 DVに関する理解促進と暴 力の防止を目的とした研 修会や講演会を開催する。	人権 ・ 男女 共同 参 画 課	「女性に対する暴力をなく す運動期間」に合わせて、 市民を対象としたDV予防 講座を開催する。	DV予防講座は開催できな かったが、パネル展、ホー ムページ、センターニュ ース「クレーション」等に て「女性に対する暴力を なくす運動期間」について 周知した。	目標の講座開催回数に 達しなかったため	継続	活動 指標	DV予防講座開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		1	2	2	0		
評価	-	B	A	A	D										
71	市民や事業所への 学習機会の提供	市民や事業所に対して、 DVに関する理解促進と暴 力の防止を目的とした研 修会や講演会を開催する。	生涯 学 習 課	市民に対して、DVに関 する理解促進、暴力の防 止を目的とした研修会、 講演会を実施する。	-	今年度は実施できなかった ため。	継続	活動 指標	研修会の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	1	0	0	0		
評価	-	B	D	D	D										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
72	図書・DVDの充 実と有効活用	DVに関する図書やDVD を購入するとともに、図 書・DVDの概要を広く周 知し貸し出すことで、DV に関する理解促進を図 る。	人権・ 男女共 同参画 課	「女性に対する暴力をなくす運 動」期間に合わせて、DV防止に 向けた啓発のため、特設コー ナーにてPRを行う。	市役所本庁、男女共同参画セン ター及びカンカンベイサイドモ ールにて、パネル展を行った。	-	継続	活動 指標	関連テーマの特設展示(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	I	I	I	I	I	
								実績		I	I	I	I		
評価	-	B	B	B	B										
72	図書・DVDの充 実と有効活用	DVに関する図書やDVD を購入するとともに、図 書・DVDの概要を広く周 知し貸し出すことで、DV に関する理解促進を図 る。	図書館	男女共同参画課と協力し合い 啓発の推進に努める。	人権・男女共同参画課と協力し、 関連テーマ展示を実施した。	-	継続	活動 指標	関連テーマ展示の開催						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	I	I	I	I	I	
								実績	I	I	I	I	I		
評価	-	B	B	B	B										
73	DV相談窓口の 周知	DV相談窓口の情報が 必要な人に届くよう、 ホームページ・チラシ等 で、周知する。 また、内閣府・大阪府等 が実施している相談窓 口に関する情報について も情報発信を行う。	人権・ 男女共 同参画 課	市施設、関係課窓口、市内医療 機関等に相談窓口のチラシや カードを配架し、DV窓口の周知 を行う。	市施設、関係窓口相談窓口案 内を掲示した。また、岸和田市医 師会に協力いただき、市内の医 療機関に相談窓口案内の配架 を依頼し、情報発信に努めた。ま た、DV相談カードをリニューアル し、関係各課・機関へ広く配架・ 周知を依頼した。	-	継続	活動 指標	DV相談窓口の周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										
74	多様な相談体制 の確立	面談・電話による相談に 加えて、SNSやメール等 を使った手法を検討す る。	人権・ 男女共 同参画 課	DV被害者優先の「女性の弁 護士による法律相談」の電話によ る相談を継続。	法律相談は24件、うち電話によ る相談は2件。	-	継続	活動 指標	多様な相談体制の検討・確立						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
75	被害者の安全確保と継続支援のあり方の検討	関係各課が連携して被害者の安全確保を行うとともに、個々のニーズに応じて、必要な支援や情報提供を行う。また、自立に向けた継続支援のあり方について、関係課と検討する。	人権・男女共同参画課	相談窓口担当者会議を開催し、関係課の支援内容を共有するとともにDV被害者支援のための課題について検討を続ける。	相談窓口担当者会議を開催し、安全確保、継続支援のための連携ができた。	-	継続	活動指標	DV被害者の安全確保と継続支援のための連携						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	B	B										
76	DV対応マニュアルの整備	DV被害者の早期発見や適切な対応を行うため、各課共通のマニュアルを整備する。また、各課の業務に応じた対応マニュアルの作成にも努める。	人権・男女共同参画課	DV対応マニュアルの周知に努め、各課に応じた対応マニュアルの作成について依頼する。	DV窓口担当者会議にて、各課共通DV被害者対応マニュアルについて周知し、各課の業務に応じた対応マニュアルの作成を依頼した。	-	継続	活動指標	共通マニュアルの整備と周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	D	B	B	B										
77	DV被害者の早期発見・被害者支援のための庁内連携及び関係機関との連携	関係機関と連携し、DV被害者の早期発見やニーズ把握及びその解決に向けた支援を行う。	人権・男女共同参画課	●各課のDV被害者への支援事業一覧、各種相談窓口一覧表、DV対応マニュアル等、関係各課に情報提供を行う。 ●岸和田警察、大阪府女性相談センターとの連携を密にして、DV被害者の安全確保を行う。	●各課のDV被害者への支援事業一覧、各種相談窓口一覧表をいつでも確認することができるよう、庁内LANに掲示した。 ●大阪府からの要請で支援調整会議を行い、大阪府女性相談センター・貝塚子ども家庭センター・生活福祉課と連携し、DV被害者の安全確保策について検討した。	-	継続	活動指標	DV被害者の早期発見・支援のための連携						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	B	B										
77	DV被害者の早期発見・被害者支援のための庁内連携及び関係機関との連携	関係機関と連携し、DV被害者の早期発見やニーズ把握及びその解決に向けた支援を行う。	消防本部	救急事案等において、DV被害を受けている可能性があればDV相談窓口の案内を行う。また、関係機関と情報共有し、被害者に対する支援が迅速に行われるよう取り組む。	疑われる事案全て関係機関と連携協力	-	継続	活動指標	DV被害者の早期発見・支援のための連携						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	B	B										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
77	DV被害者の早期発見・被害者支援のための庁内連携及び関係機関との連携	関係機関と連携し、DV被害者の早期発見やニーズ把握及びその解決に向けた支援を行う。	医療マネジメント課	DV被害と思われる方がいたら、DV相談窓口を案内し、大阪府救急センター、本市子ども家庭課等とも連携し、被害者の早期発見、解決に向けた支援を行う。	早期発見、解決に向けた支援の体制を維持した。	-	継続	活動指標	DV被害者の早期発見・支援のための連携						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
78	児童虐待・高齢者虐待・障害者虐待担当課との連携の仕組みづくり	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多いため、児童、高齢者、障害者の虐待担当課が連携し、それぞれの機能を理解し、被害者支援を行う仕組みをつくる。	人権・男女共同参画課	相談内容に応じて、児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待の担当課と連携しDV被害者支援を行う。	必要に応じて、関係各課の担当と照会や情報提供を行い、合同で相談対応を行った	-	継続	活動指標	DVと各虐待担当課での連携体制の整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
78	児童虐待・高齢者虐待・障害者虐待担当課との連携の仕組みづくり	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多いため、児童、高齢者、障害者の虐待担当課が連携し、それぞれの機能を理解し、被害者支援を行う仕組みをつくる。	福祉政策課	関係各課のそれぞれの役割等を理解し、連携協力体制を構築する。	高齢者がいる家庭でのDV案件について、関係各所との連携に努める。	-	継続	活動指標	DVと各虐待担当課での連携体制の整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
78	児童虐待・高齢者虐待・障害者虐待担当課との連携の仕組みづくり	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多いため、児童、高齢者、障害者の虐待担当課が連携し、それぞれの機能を理解し、被害者支援を行う仕組みをつくる。	障害者支援課	障害者に係るDV案件については、大阪府作成の障がい者虐待対応マニュアルに基づいて関係課への情報提供を行うとともに、関係課とともに必要な支援を行う。	障害者に係るDV案件については、大阪府作成の「障がい者虐待対応マニュアル」に基づいて人権・男女共同参画課への情報提供を行い、連携して支援を行った。	-	継続	活動指標	DVと各虐待担当課での連携体制の整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
78	児童虐待・高齢者虐待・障害者虐待担当課との連携の仕組みづくり	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多いため、児童、高齢者、障害者の虐待担当課が連携し、それぞれの機能を理解し、被害者支援を行う仕組みをつくる。	子ども家庭課	相談を受けた場合は、課題により必要な連携を図り支援する。	必要に応じ人権・男女共同参画課や障害者支援課等の関連部署と情報共有し、相談者や児童に対して必要な支援を行った。	-	継続	活動指標	DVと各虐待担当課での連携体制の整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
79	DV被害者の個人情報保護	DV被害者の個人情報の保護のため、情報管理を徹底する。	市民課	DV等被害者への支援措置として「住民票の写し」及び「戸籍附票の写し」の交付・閲覧制限を実施し個人情報の保護に努める。住民票、戸籍附票発行禁止入力・マイナンバー情報連携不開示入力・関係市町村への連絡・本市関係各課への情報共有を支援措置申出受理後迅速に遺漏なく行う。	住民票、戸籍附票発行禁止入力・マイナンバー情報連携不開示入力・関係市町村への連絡・本市関係各課への情報共有を支援措置申出受理後迅速に遺漏なく行う。	-	継続	活動指標	DV被害者の個人情報の保護						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
79	DV被害者の個人情報保護	DV被害者の個人情報の保護のため、情報管理を徹底する。	人権・男女共同参画課	DV被害者の個人情報管理を徹底する。	個人情報管理を徹底した。また、DVIによる支援措置申出者に対して意見付与を行っている。	-	継続	活動指標	DV被害者の個人情報の保護						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
80	相談担当者の資質向上	DV被害者支援のため、相談対応スキルの向上、利用できる社会資源に関する情報収集を行う。	人権・男女共同参画課	大阪府が開催する相談員スキルアップ研修に参加し、相談スキルを向上させる。	今年度から相談業務を担当することになった職員について、相談員スキルアップ研修及びDV関連の研修に参加した。	-	継続	活動指標	研修会への参加						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
81	女性相談及びDV相談の充実と連携	女性相談とDV相談を効果的に連携させDV被害者の支援を行う。	人権・男女共同参画課	女性相談からDV相談、DV相談から女性相談と、相互に利用案内を行う。	女性相談からDV相談、DV相談から女性相談と、相互に利用案内を行った。	-	継続	活動指標	女性相談とDV相談の連携						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										
82	弁護士相談及び人権相談の充実	DV被害者の自立に向けた支援のため、制度の周知方法や実施方法について、課題を整理し充実に向けた検討を行う。	広報広聴課	DV被害者が抱える問題のうち、法律的な解決を要する問題に対し、弁護士の無料法律相談を実施する。	毎週木・金曜日(年末年始、祝日等を除く。)に実施。 令和6年度実績:100回	-	継続	活動指標	弁護士による無料法律相談の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	98	97	97	100	100	
								実績	85	98	97	97	100		
評価	-	B	B	B	B										
82	弁護士相談及び人権相談の充実	DV被害者の自立に向けた支援のため、制度の周知方法や実施方法について、課題を整理し充実に向けた検討を行う。	人権・男女共同参画課	相談窓口の周知に努める。	相談を聞く中で、必要に応じて法律相談の案内をした。 相談内容や相談希望日に合わせて、当課の法律相談や広報広聴課の法律相談を案内するなど、連携しながら対応している。	-	継続	活動指標	DV法律相談の利用者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	24	30	36	36	36	
								実績	19	27	12	19	24		
評価	-	A	C	C	C										
83	DV被害者の早期発見のための地域リーダーの育成	自らがDV被害者であると認識していない人に、周囲が気づき、相談窓口につなげるため、地域で人々に関っている方に、被害者の早期発見のための研修を実施する。	人権・男女共同参画課	【施策番号71参照】 市民を対象としたDV予防講座を開催する際に、民生委員・児童委員など地域で市民に関わる人に対して、開催の周知を行う。	DV予防講座は開催できなかったが、パネル展、ホームページ、センターニュース「クリアション」等にて「女性に対する暴力をなくす運動期間」について周知した。	-	継続	活動指標	講座の開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		1	0	3	0		
評価	-	B	D	A	D										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
84	若年層への性に関する教育・学習機会の提供	性と生殖に関する正しい知識を身につけるため、各年齢層に応じた学習会、講座を実施する。	人権・男女共同参画課	性と生殖に関する講座を開催する。	①「フェムテックってなあに？」(8人参加) ②「乳がん予防セミナー&リラックス椅子ヨガ」(24人参加)	-	継続	活動指標	講座の開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	I	I	-	
								実績	-	-	-	I	2		
								評価	-	-	-	B	A		
84	若年層への性に関する教育・学習機会の提供	性と生殖に関する正しい知識を身につけるため、各年齢層に応じた学習会、講座を実施する。	学校教育課	「体育」「保健体育」の授業を通じて、学習指導要領に沿った上で、各学年に応じた性と生殖に関する正しい知識を身につけさせるよう各校に周知する。	「体育」「保健体育」の授業について、適宜指導主事が各学校を訪問し助言を行った。	-	継続	活動指標	「体育」「保健体育」の授業における指導の周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
84	若年層への性に関する教育・学習機会の提供	性と生殖に関する正しい知識を身につけるため、各年齢層に応じた学習会、講座を実施する。	人権教育課	学習指導要領に基づき、「保健体育」等の授業を通じて、各学年の発達段階に応じた学習指導を行う。	各学校の実情に応じて「保健体育」や「性と生の学習」の学習カリキュラムに基づき、発達段階に応じた学習機会を提供するなどしている。	各学校で、「保健体育」等の授業を通じて、性と生の学習リフレットや教材を活用するなどして、子どもたちの学習理解に努めているため。	継続	活動指標	「保健体育」等の授業を通じた学習						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
84	若年層への性に関する教育・学習機会の提供	性と生殖に関する正しい知識を身につけるため、各年齢層に応じた学習会、講座を実施する。	生涯学習課	乳幼児・小学生・中高生をもつ和音家庭教育学級学習会「大切なから大切な心～性と生の学級の学習内容に、性と生殖に関するテーマを含める。	和音家庭教育学級学習会「大切なから大切な心～性と生の学習ではくくお自分を大切にする力」を実施。	-	継続	活動指標	家庭教育学級での講座実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	I	I	I	I	I	
								実績	I	I	I	I	I		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
85	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報提供	思春期から出産期、更年期、高齢期等、ライフステージに応じて性と生殖に関する健康・権利についての情報を発信する。	人権・男女共同参画課	ライフステージに応じた性と生殖に関する講座を開催する。	①「フェムテックってなあに？」(8人参加) ②「乳がん予防セミナー&リラックス椅子ヨガ」(24人参加)	-	継続	活動指標	講座の開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	1	1	-	
								実績	-	-	-	2	2	-	
								評価	-	-	-	A	A	-	
85	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報提供	思春期から出産期、更年期、高齢期等、ライフステージに応じて性と生殖に関する健康・権利についての情報を発信する。	子ども家庭課	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ移管】 【施策番号5参照】 パパママ教室等を通じて家族計画を含めた性と生殖に関する情報を提供する。 パパママ教室:3回1クール 年間6クール開催予定。	パパママ教室等を通じて家族計画を含めた性と生殖に関する情報提供を行った。 パパママ教室:全6クール終了(うち日曜日開催3回) 参加人数(延):妊婦172人、パートナー102人	-	継続	活動指標	開催回数(クール)※1クール=3回						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	6	6	6	6	6	
								実績	6	6	6	6	6	-	
								評価	-	B	B	B	B	-	
85	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報提供	思春期から出産期、更年期、高齢期等、ライフステージに応じて性と生殖に関する健康・権利についての情報を発信する。	人権教育課	【施策番号84参照】 学習指導要領に基づき、「保健体育」等の授業を通じて、各学年の発達段階に応じた学習指導を行う。	各学校で、「保健体育」等の学習カリキュラムに基づき、発達段階に応じた学習指導を行っている。	各学校で「保健体育」等の学習カリキュラムを計画通り進めているため。	継続	活動指標	「保健体育」等の授業を通じた学習						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B	-	
85	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報提供	思春期から出産期、更年期、高齢期等、ライフステージに応じて性と生殖に関する健康・権利についての情報を発信する。	生涯学習課	各年代に応じた情報発信の機会を検討し発信する。	和音家庭教育学級学習会「大切なからだ大切な心～性と生の学習ではぐくむ自分を大切にす力」を実施。	-	継続	活動指標	情報発信回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	1	4	1	1	-	
								評価	-	B	A	B	B	-	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
86	ライフステージに応じた健康支援	思春期から妊娠・出産期、高齢期等、ライフステージに応じて適切な健康管理ができるよう支援する。	健康推進課	乳がん・子宮がん検診の実施。	20歳の女性には子宮がん検診、40歳の女性には乳がん検診の無料クーポン券を5月に送付し、受診を勧奨。また、無料クーポン券を送付した人のうち、未受診の人に対し、11月に再勧奨を実施。	受診勧奨、再勧奨は予定どおり実施したが、目標の受診率には到達できなかったため。	継続	活動指標	①子宮がん検診受診率(%) ②乳がん検診受診率(%) ③妊婦・産婦健康診査の実施(R5まで)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	①35②40③-	①35②40③-	①35②40③-	①35②40	①35②40	
								実績	①17.9②20.1	①18.3②18.3③-	①18②19③-	①20②20③-	①20②20		
評価	-	①②C③B	①②C③B	①②C③B	①C②C										
86	ライフステージに応じた健康支援	思春期から妊娠・出産期、高齢期等、ライフステージに応じて適切な健康管理ができるよう支援する。	子ども家庭課	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ一部移管】 ●妊婦・産婦健康診査の実施。 ●電話・オンラインによる妊産婦子育て相談や、助産師等による伴走型相談支援により、妊娠～産後まで訪問や面談で相談支援を実施。	●妊婦健康診査は1人につき14回分(116,840円)、多胎の場合は19回分(142,040円)の受診券を交付して費用助成を実施。産婦健康診査は2回分(10,000円)の受診券を交付して費用助成を実施。 ●電話・来所・訪問・オンライン等で妊産婦の子育て相談や、助産師等による伴走型相談支援により、妊娠～産後まで相談支援を実施。	-	継続	活動指標	妊婦・産婦健康診査の実施						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-				-	-	
								実績					-		
評価	-				B										
86	ライフステージに応じた健康支援	思春期から妊娠・出産期、高齢期等、ライフステージに応じて適切な健康管理ができるよう支援する。	医療マネジメント課	出前講座に登録している健康に関するテーマについて、市民からの希望を待つだけでなく、積極的に市内の施設に出向き、講座を実施する。	市民向けの講演会を開催 市民公開講座 4/27、11/16、12/7 それぞれ23名、34名、56名 合同講演会 10/19 20名 健康講座 2/25 30名 合計163名。	-	継続	活動指標	講座の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	2	0	2	4	5		
評価	-	D	B	A	A										
86	ライフステージに応じた健康支援	思春期から妊娠・出産期、高齢期等、ライフステージに応じて適切な健康管理ができるよう支援する。	生涯学習課	体を動かす運動系講座や栄養に関する講座を開催する。	短期講座「パパ・ママがもうダメとなる前に～東洋医学編～」(大人8名子ども5名参加)・「遊びも学び」(9名参加)・「親子でバランスボールエクササイズ」(大人7名子ども10名)・「お肉プロジェクト シェフ直伝 トンテキ・鶏ハム」(16名参加)を実施。 令和6年度内に短期講座「見逃されがちな男性の更年期障害」・「先取春野菜」・「ご飯で免疫力!」を実施予定。	-	継続	活動指標	講座の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	2	2	8	6	7		
評価	-	B	A	A	A										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
87	健康相談の充実	健康に関する市民のニーズや様々な情報を収集し担当者間で共有することにより、市民の健康不安を解消するための相談体制の充実に努める。	健康推進課	保健師等による健康相談等を電話(随時)や面接(予約制)にて実施する。	保健師等による健康相談等を電話(随時)や面接(予約制)にて実施。	-	継続	活動指標	相談体制の充実						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	A	B	B	B										
87	健康相談の充実	健康に関する市民のニーズや様々な情報を収集し担当者間で共有することにより、市民の健康不安を解消するための相談体制の充実に努める。	子ども家庭課	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ一部移管】 専門職(保健師・理学療法士・保育士・栄養士・歯科衛生士・助産師・発達相談員)による健康相談等を電話(随時)や面接(予約制)にて実施する。 面接では直接的な対面だけでなく、「Zoom」を活用した、オンラインでの育児相談(保健師・助産師・管理栄養士・歯科衛生士・発達相談員による)を実施する。	専門職(保健師・理学療法士・保育士・栄養士・歯科衛生士・助産師・発達相談員)による健康相談等を電話(随時)や面接(予約制)にて実施した。オンライン相談については、需要があまりなく、電話や面接相談で対応している。	-	継続	活動指標	相談体制の充実						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
評価	-	-	-	-	B										
87	健康相談の充実	健康に関する市民のニーズや様々な情報を収集し担当者間で共有することにより、市民の健康不安を解消するための相談体制の充実に努める。	医療マネジメント課	患者支援センター医療相談窓口では基本的に看護師が相談にあっているが、必要に応じて他の専門職も対応するなど相談窓口の充実を図る。	相談窓口の充実を図った。	-	継続	活動指標	医療相談窓口の充実						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
評価	-	B	B	B	B										
88	特定妊婦への支援	特定妊婦の状況を共有し、個々のニーズの把握及び問題解決に向けた支援を行う。	子ども家庭課	特定妊婦について、必要な事案について母子保健担当と共同でリスクアセスメントを実施し、支援方針を立てて支援を行う。その後も定期的に複数の機関でモニタリング実施する。 【実施予定会議】 ・在宅児・特定妊婦会議	在宅児・特定妊婦会議を予定通りそれぞれ月1回ずつ実施。 【会議開催：12回】	-	継続	活動指標	該当会議の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	24	24	24	12	12	
								実績	20	20	22	22	12		
評価	-	C	C	B	B										

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
89	医療関係者との連携	市民の健康不安の解消や生涯にわたる健康管理のため、地域の医療関係者と連携を図る。	人権・男女共同参画課	各種相談の相談者で医療的処置が必要な場合は、心身の健康保持のために医療機関につなげる。	相談を聞くうえで、健康状態に不安がある人については、医療機関を受診しているのか確認を行った。	-	継続	活動指標	医療関係者との連携						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	-	-	-	
89	医療関係者との連携	市民の健康不安の解消や生涯にわたる健康管理のため、地域の医療関係者と連携を図る。	健康推進課	各がん検診や市民歯科健康診査等の実施について、保健センター等での集団検診に加え、各実施医療機関での個別検診を実施し、市民が受診しやすい体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ●各がん検診 保健センターでの集団がん検診を年間35回(男性7回、女性28回)、岸和田市国保加入者の集団特定健診(がん検診同時実施)を年間28回(男性10回、女性18回)、協会けんぽ集団特定健診(がん検診同時実施)を年間1回実施。また、市民センター3か所を巡回がん検診を年間3回実施の他、医療機関での個別検診を実施。(乳がん・子宮がん・胃がん(胃内視鏡)検診は通年、大腸がん・肺がん検診は5月~3月) ●市民歯科健康診査 保健センターでの集団健診を年間12回(男性3回、女性9回)がん検診と同時実施 医療機関での個別健診を実施(通年) 	-	継続	活動指標	受診しやすい体制の構築						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B	-	
89	医療関係者との連携	市民の健康不安の解消や生涯にわたる健康管理のため、地域の医療関係者と連携を図る。	医療マネジメント課	地域の医療機関との連携を図るとともに、医師や職員が地域の医療機関を訪問(WEBも含む)し、情報交換や情報共有を行う。	訪問を積極的に行った。	-	継続	活動指標	地域医療機関への訪問件数(件)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	60	60	60	60	60	
								実績	46	60	60	90	163	-	
								評価	-	B	B	A	A	-	
90	多様な性についての理解を深めるための学習機会の提供・情報提供	性の多様性に関する正しい理解と認識を深め、性的少数者の人たちが安心して生活し、活躍できる社会が実現できるよう様々な情報を提供	人権・男女共同参画課	性の多様性に関して情報発信する。	岸和田市人権協会総会で、映画「言葉があるから…」を上映。性別や性的指向に関する「マイクロアグレッション」について学ぶ研修会(52人参加)を開催した。	-	継続	活動指標	性の多様性に関する情報発信						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B	-	

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
91	子育ての役割分担についての支援	男女がともに子育てに取り組めるよう、子育てにおける性別による固定的な役割分担意識を払拭するための講座等を開催する。	人権・男女共同参画課	父親の育児参画について考える講座を開催する。	きしわだ男女共同参画フォーラム「男性育休」を有効活用～本人・周りの育児参画のコツを考える～(44人参加)を開催した。	-	継続	活動指標	講座開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		1	1	4	1		
								評価	-	B	B	A	B		
92	子どもの個性を伸ばす子育ての意識づくり	子どもたちが性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、その能力や個性を尊重した生き方を選択することを支援できるよう、保護者や地域で子どもに関わる人たちに対して研修会や講演会を開催する。	人権・男女共同参画課	保護者や地域で子どもに関わる人たちに対して、性別に関わらず、個性を伸ばす方法について考える講座を開催する。	「親子でサイエンス・クッキング」(37人参加)、「親子で一緒に日曜大工」(18人参加)を開催した。	-	継続	活動指標	講座開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	1	1	1	1	
								実績		-	2	6	2		
								評価	-	-	A	A	A		
93	育児に関する相談窓口の充実	保護者の育児不安の解消のため、個別の状況に応じた子育てに関する様々な情報提供を行うとともに、相談窓口の周知に努める。	子ども家庭課	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ移管】 妊娠届け出時に子育てに関する相談窓口の情報提供を行う。	妊娠届出時に母子保健サービス、子育て支援サービス等の情報提供を行い、相談窓口の周知を実施した。	-	継続	活動指標	相談窓口の情報提供						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
93	育児に関する相談窓口の充実	保護者の育児不安の解消のため、個別の状況に応じた子育てに関する様々な情報提供を行うとともに、相談窓口の周知に努める。	子育て施設課	「みんなでこそだて」を作成・配布し、子育てに関する情報提供を行う。また、ホームページやチラシなどの複数の媒体で保育コンシェルジュによる相談事業の周知に努める。	「みんなでこそだて」を作成し、保育所等をはじめ市民センターなどにも配布し、子育てに関する情報提供を行った。「みんなでこそだて」には、保育コンシェルジュによる相談事業について掲載し、ホームページやチラシなどの複数の媒体でも相談事業の周知に努めた。また、全保育所で「園庭開放」を、6園で「赤ちゃんルーム」を実施し、保育士や看護師等が、保育所に通園していない子の保護者からの子育て相談にも応じている。	-	継続	活動指標	「みんなでこそだて」の配布箇所数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	90	90	90	90	90	
								実績	90	90	87	90	90		
								評価	-	B	C	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
94	多様なライフスタイルに対応した子育てサービスの提供	働き方をはじめ、多様なライフスタイルに対応するため、ニーズに応じた様々な子育てサービスを提供する。	子育て施設課	公立保育所において一時預かり事業及び緊急一時預かり事業を実施する。	一時預かり事業は、桜台保育所において実施している。緊急一時預かり事業は、令和5年度は2園の実施だったが、令和6年度は5園が実施している。	-	継続	活動指標	一時預かり事業及び緊急一時預かり事業の年間利用のべ人数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1575	1575	1575	1575	1575	
								実績	1575	1645	1422	1887	1851		
								評価	-	A	C	A	A		
95	児童虐待の防止のための学習機会の提供	保護者や地域住民を対象に、子どもとの接し方、地域での児童虐待早期発見等、児童虐待防止への意識向上のための講座等を開催する。	人権・男女共同参画課	児童虐待防止に関連する講座の開催や情報提供を行う。	児童虐待防止に関連する講座は開催できなかった。	講座の開催及び情報提供ができなかったため。	継続	活動指標	講座の開催・情報提供の回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		1	1	2	0		
								評価	-	B	B	A	D		
95	児童虐待の防止のための学習機会の提供	保護者や地域住民を対象に、子どもとの接し方、地域での児童虐待早期発見等、児童虐待防止への意識向上のための講座等を開催する。	子ども家庭課	地域住民向けに出前講座等で研修を行う。また、岸和田市子育て支援地域協議会児童虐待防止ネットワーク部会での研修開催を行い、児童虐待や支援に関する知識を深めていく。	11月11日「ヤングケアラー支援者研修～基礎～」を一般社団法人 こもれびの水流添 綾(ツルゾエ アヤ)氏を講師に迎え、グループワークを交えた研修会を実施した。	-	継続	活動指標	実務者対象研修会実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	1	1	1	1	1		
								評価	-	B	B	B	B		
96	地域における子育て関係団体への支援	育児不安の解消や孤立の防止など、保護者の居場所づくりを担う子育て関係団体の活動を支援するとともに、活動内容について広く周知する。	人権・男女共同参画課	男女共同参画センターの情報コーナーで子育て支援関係のパンフレットやチラシを配架し活動内容の周知及び参加促進を図る。	大宮地区市民協議会が実施する親子ひろば「カンガルー」のチラシ等を男女共同参画センターの情報コーナーに配架し利用者に周知した。	-	継続	活動指標	子育て関係団体の活動を支援						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
96	地域における子育て関係団体への支援	育児不安の解消や孤立の防止など、保護者の居場所づくりを担う子育て関係団体の活動を支援するとともに、活動内容について広く周知する。	生涯学習課	子育て支援団体の活動の周知に取り組む。保育室やロビーにパンフレットやチラシを配架し、キッズルームやあかちゃんサロンに参加した保護者に見ていただけのようにする。	パンフレットやチラシを保育室やロビーに配架している。また、キッズルームや赤ちゃんサロンに初めて参加した保護者に対し配付も行っている。	-	継続	活動指標	配架数(情報用発信棚など)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	45	45	45	45	45	
								実績	45	45	43	45	45		
								評価	-	B	B	B	B		
97	子育て関係団体との協働による事業の実施	子育て支援を行っている団体の経験を活かした講座等を共催する。	人権・男女共同参画課	子育て支援を行っている団体の経験を活かした講座等を開催する。	NPO法人ここからKけ主催、龍谷大学人間問題研究プロジェクト・岸和田市共催で「ゆめパのじかん〜上映会+トークイベント&屋内型プレーパーク」を開催した。普段利用の少ない子育て世代に対し、男女共同参画センターを周知する良い機会となった(9/28開催・70人参加)。	-	継続	活動指標	団体の活動支援						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	D	B	B	B		
98	子育て世代の利便性を考慮した庁舎の整備	子育て世代に必要な設備の整備や、子育て関連課を近くに配置するなど子育て世代の動線を意識した庁舎整備を行う。	庁舎建設準備課	設計施工事業者の公募を行う際、バリアフリー・キッズスペース・多目的トイレ・授乳室等、子育て世代に必要な設備の整備や、関連性を考慮した利用しやすい課の配置とするなど、子育て世代に配慮した新庁舎の設計が行えるよう要求水準で求めていく。	公募を実施していない。	-	継続	活動指標	子育て世代に配慮した新庁舎の設計						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	-	-	-	-		
99	子育て世代の利便性を考慮した公共施設の整備	キッズコーナー、トイレへのチャイルドシート設置等、子育て世代が利用しやすい公共施設の整備を行う。	公共建築マネジメント課	工事設計時に、子育て世代の利便性を考慮し、子育て世代が利用しやすい公共施設の整備をする。	(仮称)市立春木・大芝認定こども園整備事業に伴い、子育て世代の利便性保もちろんの事、車いす利用者でも利用しやすいよう、多目的トイレ内にオストメイトの設置、国際シンボルマークの採用、駐車場の車いす専用区画を計画した。	-	継続	活動指標	子育て世代が利用しやすい公共施設の整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-		
								評価	-	B	-	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
100	介護の役割分担 についての支援	介護する必要が生じた 際に、性別にかかわらず 介護に取り組めるよう学 習機会を提供する。	人権・ 男女共 同参 画課	今年度は、実施年度ではないた め、実施しない予定。	-	-	継続	活動 指標	講座開催数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	-	-	1	
								実績		0	3	-	-		
								評価	-	D	A	-	-		
101	障害のある女性 への就労支援	障害がある女性への就 労支援を行う。また、雇 用や労働に関する相談 窓口の周知に努める。	人権・ 男女共 同参 画課	障害のある女性から就労に関 する相談があれば、必要な支援 につなぐ。	-	泉州中障害者就業生活支援セ ンター利用者の職業体験の受け 入れをした。	継続	活動 指標	就労のための支援						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	C	-	B	B		
101	障害のある女性 への就労支援	障害がある女性への就 労支援を行う。また、雇 用や労働に関する相談 窓口の周知に努める。	障 害 者 支 援 課	相談や窓口対応の際に、必要 に応じてハローワークや泉州中 障害者就業・生活支援センター への案内を行う。	-	相談や窓口対応の際に、必要 に応じてハローワークや泉州中 障害者就業・生活支援センターへ の案内を行った。	継続	活動 指標	関係機関への案内件数(件)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	25	25	25	25	25	
								実績	-	30	40	15	25		
								評価	-	A	A	C	B		
101	障害のある女性 への就労支援	障害がある女性への就 労支援を行う。また、雇 用や労働に関する相談 窓口の周知に努める。	産 業 政 策 課	●模擬面接会を開催して就労 支援を行う。 ●ホームページなどで周知に努 める。	-	11/6に模擬面接会を開催し、 就労支援を行った。市ホーム ページ等への周知に努めた。	継続	活動 指標	周知メディア数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	2	2	2	2	2		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
102	高齢者・障害者 虐待の防止のた めの学習機会の 提供	障害福祉や介護の事業 所、家族に対して、虐待 防止のための講座等を 開催する。	人権 ・ 男女 共同 参画 課	虐待防止に関連する講座の開 催や情報提供を行う。	障害者支援課と共催で「認知症 になってからのセカンドスト ーリー」を開催。認知症について考 える機会となった(2/8開催・48 人参加)。	-	継続	活動 指標	講座の開催・情報提供の回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	I	I	I	I	I	
								実績		I	I	I	I		
								評価	-	B	B	B	B		
102	高齢者・障害者 虐待の防止のた めの学習機会の 提供	障害福祉や介護の事業 所、家族に対して、虐待 防止のための講座等を 開催する。	福祉 政策 課	事業所に対して高齢者虐待防 止のための啓発を行う。	地域包括支援センターが主催の 新人ケアマネ研修において啓発 を行った。	-	継続	活動 指標	啓発の実施						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	B	B	B	B		
102	高齢者・障害者 虐待の防止のた めの学習機会の 提供	障害福祉や介護の事業 所、家族に対して、虐待 防止のための講座等を 開催する。	障 害 者 支 援 課	事業所に対して障害者虐待防 止に係る講座を実施する。また、 市民向けにポスターなどで啓発 を行う。	事業所に対して障害者虐待防止 に係る講座を令和7年1月27日 に実施した。また、事業所職員向 けにクリアファイルで虐待全般の 通報に関する啓発を行った。	-	継続	活動 指標	講座実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	I	I	I	I	I	
								実績	I	I	I	I	I		
								評価	-	B	B	B	B		
103	スクール・セク シュアル・ハラス メント相談窓口の 充実	各学校の相談窓口担当 者を対象に、会議及び研 修会を開催し、セクハラ 被害の状況や傾向、防 止対策等の情報を共有 することで、相談体制の 充実に努める。	人 権 教 育 課	セクハラ相談窓口担当者会を 実施する。セクシャルハラスメン トに関する資料の情報提供や防 止対策の情報を共有を行う。	セクハラ相談窓口担当者会を 実施するとともに、大阪府教育委員 会が作成した「教職員等による 児童生徒等に対するセクシュア ル・ハラスメント等の防止に向け た取組み」などの資料を各学校 園に周知した。	-	継続	活動 指標	セクハラ相談窓口担当者会への参加者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	61	61	61	59	58	
								実績	61	61	61	61	59		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
104	ハラスメント相談窓口の周知	市民・職員・事業所に各種ハラスメントに関する相談窓口について周知する。	人事課	庁内LANの庁内掲示板等を活用し、市職員に対して各種ハラスメントに関する相談窓口について周知する。	年度当初全部署に向けてパワハラ・セクハラ相談窓口についての案内を送信した。	-	継続	活動指標	相談窓口の周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
104	ハラスメント相談窓口の周知	市民・職員・事業所に各種ハラスメントに関する相談窓口について周知する。	産業政策課	相談内容に応じて各種ハラスメント窓口を案内する。	ホームページで相談窓口を周知した。	-	継続	活動指標	各種ハラスメント窓口の案内						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
104	ハラスメント相談窓口の周知	市民・職員・事業所に各種ハラスメントに関する相談窓口について周知する。	人権・男女共同参画課	各種相談対応のなかで、必要に応じて、ハラスメント相談窓口を案内する。	ハラスメントに関する相談があった際に、関係機関の相談窓口を案内した。 また、NPO法人岸和田市スポーツ協会に対してパワハラに関する出前講座を実施した(5人参加)。	-	継続	活動指標	相談窓口の周知						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	-	B		
105	市民・事業者・市職員・教職員対象のハラスメント防止への意識啓発	市民・事業者・市職員・教職員に対して様々な手段を通じてハラスメント防止のための啓発を行う。	人事課	職員に対してハラスメント防止のための啓発を行う。 新任課長研修、新任担当長研修の機会を通じて、ハラスメント研修を実施する。また、一般職向けにもハラスメント研修の実施を検討する。	新任課長研修、新任担当長研修の機会を通じて、ハラスメント研修を実施できた。	-	継続	活動指標	研修の実施回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	2	2	2	2	2		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
105	市民・事業者・市職員・教職員対象のハラスメント防止への意識啓発	市民・事業者・市職員・教職員に対して様々な手段を通じてハラスメント防止のための啓発を行う。	人権・男女共同参画課	ハラスメントに関連する講座の開催や情報提供を行う。	岸和田商工会議所と共催で「ハラスメント防止研修～心理的安全性のある職場づくり～」を開催した(11/26開催・26人参加)。人事課の協力のもと、研修ポイント(カフェポイント)対象講座とし、庁内に周知。複数の職員の参加につながった。	-	継続	活動指標	講座の開催・情報提供の回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績		1	1	1	1		
								評価	-	B	B	B	B		
105	市民・事業者・市職員・教職員対象のハラスメント防止への意識啓発	市民・事業者・市職員・教職員に対して様々な手段を通じてハラスメント防止のための啓発を行う。	産業政策課	「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内容案の候補として検討する。	●9月4日に「雇用労働講座」にて「ハラスメント対策」についての講座を実施した。参加者は49名だった。 ●3月5日に「知って得する労働問題講座」にて「職場のメンタルヘルスケアやメンタルヘルス不調による休職者の職場復帰に向けた支援」についての講座を実施した。参加者は41名だった。	-	継続	活動指標	当該テーマの講座開催回数						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	1	1	1	1	1	
								実績	0	1	0	0	2		
								評価	-	B	D	D	A		
105	市民・事業者・市職員・教職員対象のハラスメント防止への意識啓発	市民・事業者・市職員・教職員に対して様々な手段を通じてハラスメント防止のための啓発を行う。	人権教育課	【施策番号103と同じ】	【施策番号103と同じ】セクハラ相談窓口担当者会を実施するとともに、大阪府教育委員会が作成した「教職員等による児童生徒等に対するセクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた取組み」などの資料を各学校園に周知した。	-	継続	活動指標	セクハラ相談窓口担当者会への参加者数(人)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	61	61	61	59	58	
								実績	61	61	61	61	59		
								評価	-	B	B	B	B		
106	多様なニーズに対応するための相談体制づくり	相談者の多様なニーズに対応するため、安心して相談できる体制を確保するとともに、相談員の知識やスキルの向上を図り、相談事業の質を高める。	人権・男女共同参画課	「つながりサポート事業」を実施し、多様なニーズの相談に対応する。「困難な問題(DVなど)を抱える女性のための相談」を開始する。	「つながりサポート事業」を実施し、さまざまな悩みを抱える女性の相談に対応した。また、今年度から女性相談支援員を配置し、「DV相談」、「困難な問題(DVなど)を抱える女性のための相談」において、日々相談に応じている。	-	継続	活動指標	利用しやすい相談体制の構築						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績		-	-	-	-		
								評価	-	A	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
107	外国籍の女性への支援	外国籍の女性が抱える生きづらさを解消するために必要な支援を行う。	人権・男女共同参画課	●岸和田市国際親善協会が作成した「やさしい日本語を使いましょう」の活用を呼び掛ける。 ●外国人の対応のため、翻訳機(ポケットク)を庁内各課に貸し出す。	人権問題専門講座として「やさしい日本語について」を開催。 庁内各課に、外国人対応のためポケットクの貸出を行った。	-	継続	活動指標	「やさしい日本語」による情報発信の理解促進						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
107	外国籍の女性への支援	外国籍の女性が抱える生きづらさを解消するために必要な支援を行う。	文化国際課	男女共同参画に関する職員研修等で得た知識やスキルを課内で共有すると共に、市民団体等から得られた情報の内容により関係機関へつないでいく。	男女共同参画推進本部幹事・実務担当者研修で得た情報を課内で共有した。	-	継続	活動指標	支援体制の整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
								評価	-	B	B	B	B		
108	自主防災組織への女性の参画促進	男女のニーズの違いをふまえた災害対応ができるよう、地域の自主防災組織への女性の参画を促進する。	人権・男女共同参画課	多様な視点からの防災について考える講座を開催する。	多様な視点からの防災について考える講座は開催できなかった。	開催できなかったため。	継続	活動指標	出前講座の実施回数・情報提供回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	-	2	3	1	0		
								評価	-	B	A	C	D		
108	自主防災組織への女性の参画促進	男女のニーズの違いをふまえた災害対応ができるよう、地域の自主防災組織への女性の参画を促進する。	危機管理課	防災福祉コミュニティやその他、地域活動団体から要請のある出前講座において、「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～(令和2年5月 内閣府男女共同参画局)」について言及し、ガイドラインへの関心を促す。	防災福祉コミュニティ等から要請のあった出前講座31回のうち、避難所に関して触れる機会があった12回において、男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインについて言及し、避難所運営における男女のニーズの違いを通じて、男女共同参画の必要性への理解促進を図った。	-	継続	活動指標	出前講座(講義内容が適するもの)におけるガイドラインについての言及(%)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	100	100	100	100	100	
								実績	-	100	100	100	100		
								評価	-	B	B	B	B		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動 指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
108	自主防災組織への女性の参画促進	男女のニーズの違いをふまえた災害対応ができるよう、地域の自主防災組織への女性の参画を促進する。	消防本部	所管する市民団体等を通じて地域防災への女性参画を促進する。	研修の際に、女性が自主防災組織に参画することの大切さを伝えた。	目標回数を実施できていないため	継続	活動指標	地域防災への女性参画を促進する回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	-	0	1	1	1		
								評価	-	C	C	C	C		
109	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動	過去の災害時に女性の視点が欠落していた教訓から、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動を進められるよう地域と連携して講座等を開催する。	人権・男女共同参画課	【施策番号108と同じ】	【施策番号108と同じ】	【施策番号108と同じ】	継続	活動指標	講座開催回数・情報提供回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績		2	3	2	0		
								評価	-	B	A	B	D		
109	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動	過去の災害時に女性の視点が欠落していた教訓から、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動を進められるよう地域と連携して講座等を開催する。	危機管理課	防災福祉コミュニティやその他、地域活動団体から要請のある出前講座において、「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～(令和2年5月 内閣府男女共同参画局)」について言及し、ガイドラインへの関心を促す。	防災福祉コミュニティ等から要請のあった出前講座31回のうち、避難所に関して触れる機会があった12回において、男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインについて言及し、避難所運営における男女のニーズの違いを通じて、男女共同参画の必要性への理解促進を図った。	-	継続	活動指標	出前講座(講義内容が適するもの)におけるガイドラインについての言及(%)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	100	100	100	100	100	
								実績	-	100	100	100	100		
								評価	-	B	B	B	B		
109	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動	過去の災害時に女性の視点が欠落していた教訓から、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動を進められるよう地域と連携して講座等を開催する。	消防本部	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動を進められるよう、町会での訓練の際等に、所管する市民団体と連携して講座等を開催する。	実績なし。	実施できていないため。	継続	活動指標	講座等の開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	2	2	2	2	2	
								実績	-	0	0	0	0		
								評価	-	D	D	D	D		

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度取組内容	令和6年度実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの							
								活動指標	策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
110	男女共同参画の視点に基づく避難所運営マニュアル・防災マニュアルの作成	男女共同参画の視点でみたときに、避難所運営において何が必要かを検証し、すでにある避難所運営マニュアルを改訂する。	人権・男女共同参画課	「避難所運営マニュアル・防災マニュアル」改訂時には、さまざまなニーズに対応できるものとするようはたらきかける。	今年度、マニュアルに関する改訂はなかった。	-	継続	活動指標	性別の違い等によるニーズの違いを取り入れた避難所運営マニュアルの整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	D	B	-	-	-									
110	男女共同参画の視点に基づく避難所運営マニュアル・防災マニュアルの作成	男女共同参画の視点でみたときに、避難所運営において何が必要かを検証し、すでにある避難所運営マニュアルを改訂する。	危機管理課	防災福祉コミュニティやその他、地域活動団体から要請のある出前講座において、避難所運営委員会における委員の割合を男女同等とすることについて言及し、男女共同参画による避難所運営の理解を促す。	防災福祉コミュニティ等から要請のあった出前講座31回のうち、避難所に関して触れる機会のあった12回において、男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインについて言及し、避難所運営における男女のニーズの違いを通じて、男女共同参画の必要性への理解促進を図った。 (今年度は避難所運営マニュアルの改訂なし)	-	継続	活動指標	避難所開設・運営マニュアルの改訂を含めた検討及び助言						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	B	B	B	B	-									
110	男女共同参画の視点に基づく避難所運営マニュアルの作成	男女共同参画の視点でみたときに、避難所運営において何が必要かを検証し、すでにある避難所運営マニュアルを改訂する。	消防本部	見過ごされがちな女性の視点を災害対応に活かせるよう、マニュアルの改訂を進めていく。	マニュアルの改訂検討中であるが、完了できず。	完了できていないため。	継続	活動指標	災害活動マニュアルの整備						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	-	-	-	-	-	
								実績	-	-	-	-	-	-	
評価	-	D	D	D	D	-									
111	男女共同参画の視点からの避難所運営	男女共同参画の視点を取り入れられた避難所運営ができるよう、地域と連携して講座の開催や訓練を行う。	人権・男女共同参画課	●職員対象の防災に関する研修を開催する。 ●市民対象の防災に関する講座を開催する。	●7・8・9・10月に参事以下の職員対象とした男女のニーズの違いに配慮した避難所運営に関する職員研修を実施し、197人が参加した。	目標の講座・研修開催回数に達しなかったため	継続	活動指標	講座・研修開催回数(回)						
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
								目標	-	22	11	9	9	2	
								実績	-	32	11	10	8	-	
評価	-	A	B	A	C	-									

施策番号	施策内容	事業概要	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	指標 / 評価 A:目標値以上、B:目標達成、C:目標値以下、 D:実施していない、「-」は数値化できないもの						
								活動 指標	出前講座(講義内容が適するもの)におけるガ イドラインについての言及(%)					
111	男女共同参画の 視点からの避難 所運営	男女共同参画の視点が 取り入れられた避難所 運営ができるよう、地域 と連携して講座の開催 や訓練を行う。	危機 管理 課	【施策番号108参照】 防災福祉コミュニティやその他、地 域活動団体から要請のある出前 講座において、「災害対応力を強 化する女性の視点～男女共同参 画の視点からの防災・復興ガイド ライン～(令和2年5月 内閣府男女 共同参画局)」について言及し、ガ イドラインへの関心を促す。また、避 難所配備職員選出依頼時には、男 女ペアでの選出を促す文言を入れ る。	-	-	継続	活動 指標	出前講座(講義内容が適するもの)におけるガ イドラインについての言及(%)					
								策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
								目標	-	100	100	100	100	100
								実績		100	100	100	100	
								評価	-	B	B	B	B	